



International Exchange Center
Shimonoseki City University

The Trajectory

Vol.3



国際交流センター(International Exchange Center)とは

Gloculii up for GHR

01 下関市立大学から海外へ

-協定校の紹介

-留学体験レポート (下関市立大学から海外へ)

02 海外から下関市立大学へ

-外国人留学生サポート

-留学体験レポート (海外から下関市立大学へ)

INPaCS

01 交流プログラム

02 異文化理解プログラム

2023 年度報告

在籍留学生数

海外留学等の体験者数

International Exchange Center

下関市立大学国際交流センターは、2020年7月に事務局の一部署から独立した新たな体制に生まれ変わり、国際交流に専門性のある教員や日本語教員と職員が教職協働を体現しています。

三方を海で囲まれ、古くから人的、物的交流の結節点として多様な国際関係を形成してきた下関市に位置する下関市立大学は、「東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育と研究」を理念に掲げ、グローバル人材の育成に力を入れ、アメリカ、トルコ、ドイツ、オーストラリア、フランス、中国、台湾、韓国に位置する17の大学と交流協定を結んで学生の交流を促進しています。

グローバル化が進展する社会を担うために、社会にはばたく直前の教育機関である大学には、グローバル人材を輩出することが期待されています。社会人基礎力の3つの力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」に加え、グローバルな多様性社会の中でそれぞれに違いがあることを学び、互いの強みを引き出して、回答の無い問題に柔軟に対応する力を持つ若者、地域性の理解とグローバルな視点を併せ持つ若者が、これからの時代には必要です。

下関市立大学国際交流センターでは、海外との国際交流「Gloculii up for GHR (Global exchange, Cultural immersion and international understanding program for Global Human Resource)」とキャンパスでの国際交流「INPaCS (International Nexus Program at Campus of Shimonoseki City University)」、そして地域との国際交流の相互作用が若者のキャリアへと繋がり、グローバル社会で活躍する若者の育成に着目した取組みを推進しています。

Gloculii up for GHR

Global exchange, Cultural immersion and international understanding program for Global Human Resource

01 下関市立大学から海外へ

下関市立大学に入学した日からキャンパス内でグローバル体験が始まります。学内で行われる国際交流イベントやプログラムに参加することで、キャンパス内から異文化体験と理解が始まります。学生はキャンパスでの経験を経て海外に旅立ちます。短期的な海外留学体験プログラムである外国研修、各国にある協定校へ1学期間～1年間留学し、英語、中国語、韓国語で大学の授業を受講する派遣留学プログラムも有ります。派遣留学期間も下関市立大学の在籍期間に含まれますので4年間での卒業が可能です。

その他にも本学を休学して、大学等へ留学し単位互換をすることができる「単位認定私費留学」プログラムもあります。

下関市立大学から海外へ飛び立つ多様な方法を整え、サポートしています。

02 海外から下関市立大学へ

インターネット出願で受験が可能になった下関市立大学では、日本国外から直接受験して入学してくる留学生数が増加しています。また、協定校から派遣される特別聴講学生もいます。

新入学または新たに来日する留学生のためには留学生チューター制度によるサポート、奨学金や授業料減免などによる経済的サポートもあります。

また、留学生は第一外国語として日本語を履修し、修学や研究、就職に必要な学術的な日本語指導を受けることができます。日本文化の神髄を知ろう!!や地域交流プログラム等で日本文化を実際に体験し、理解する機会も提供しています。

入学から就職までの支援を受けることができる体制を整えています。

協定校

下関市立大学には、3つの理念と目的があります。その中の一つに「東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育と研究」があります。下関市立大学では下関からアジア、さらには世界へと目を向けることで、現在の国際関係がどのような構造を持っているか、また、それがどのようにして作られてきたのかを理解できる教育を行っています。教職員と学生が一体となり、世界へ広がるネットワークを形成しています。

この理念に基づき、本学には世界各国に協定校があります。2024年3月現在、アメリカに4校、トルコに1校、ドイツに1校、オーストラリアに1校、フランスに1校、中国に2校、台湾に2校、韓国に5校の合計17校の協定校があります。これらの協定校との交流は、学術交流や学生間交流等様々ですが、相互に交流を深めています。



派遣留学

派遣留学とは、1 学期間～1 年間、本学に在籍したまま海外の協定校に留学することです。留学期間は 4 年間の修業年限に含まれます。また、派遣先大学で修得した単位は、帰国後所定の手続きを経て本学の授業科目に単位認定されます。

授業料は、原則下関市立大学に納入することになりますが、派遣先大学に授業料を納付する場合があります。その場合は所定の手続きを経て本学の授業料が免除されます。

なお、派遣留学申請をするためには、必要な資格や語学レベル等の条件があります。募集期間や派遣人数、試験内容、必要資格等は以下のとおりです。

詳細については、国際交流センターへお問い合わせください。

1. 第 I 期派遣学生

- (1) 募集期間 10 月 1 日～11 月 20 日
- (2) 派遣先協定校 表 1 参照
- (3) 選抜試験の時期 11 月 20 日～12 月上旬(面接試験・筆記試験)
- (4) 派遣学生の決定 12 月第 4 週頃

表 1

国名	アメリカ	トルコ	ドイツ	中国		台湾
大学名	CCCCD の 3 大学 ロス・メダニス・カレッジ ディアプロ・パレー・カレッジ コントラ・コスタ・カレッジ	ボアジチ大学	ルートヴィヒスハー フェン経済大学	北京大学	青島大学	銘傳大学
派遣期間	8 月～翌年 7 月	9 月～翌年 8 月		9 月～翌年 8 月		
	※ 1 学期間 (1 セメスター) のみの申請も可能ですが、1 年間に希望する学生が優先になります					
募集人数	4 名	2 名	2 名	2 名	2 名	3 名
選抜試験	面接試験			筆記試験及び面接試験		
必要資格 ※1	TOEFLiBT61 点 IELTS5.5 点	TOEFLiBT79 点 IELTS 6.5 点	TOEFLiBT70 点 TOEIC 650 点 IELTS 5.5 点	中国語検 3 級 HSK4 級	中国語検 4 級 HSK3 級	中国語検 4 級 HSK3 級
授業料 納入先	CCCCD の大学 (下関市立大学の 授業料は免除)	下関市立大学		北京大学 (下関市立大学の 授業料は免除)	下関市立大学	

※1 選抜試験までに語学力を証明できる検定を受検していることは必須ですが、スコアは、選抜試験時に到達していなくても申込みが可能です。(派遣先大学への留学申請までには必要スコアに達している必要があります。)

※ アルゴマ大学(カナダ)との協定は、2024 年 3 月 17 日をもって終了しました。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
事前準備	申込み		学内選考	派遣決定	留学申請			留学開始					
中国語検定 や HSK、 TOEFLiBT IELTS など、 各種資格を 取得	申請書、応募理由 書、自己推薦書、 成績証明書、資格 証明書を準備		筆記試験、 面接試験 など		履修計画、出発前説 明会、保険加入など								中国語圏 英語圏

2. 第Ⅱ期派遣学生

- (1) 募集期間 4月1日～5月20日
- (2) 派遣先協定校 表2参照
- (3) 選抜試験の時期 5月20日～6月上旬(面接試験・筆記試験)
- (4) 派遣学生の決定 6月第4週頃

表2

国名	韓 国				オーストラリア		
大学名	東義大学校	木浦大学校	釜山外国語大学校	又松大学校	グリフィス大学	グリフィス大学附属英語学校 (GELI)	
派遣期間	3月～翌年2月			3月～翌年2月	2月～翌年1月	2月～7月	
	※1 学期間 (1 セメスター) のみの申請も可能ですが、1 年間を希望する学生が優先になります					1 セメスター	
募集人数	2名	2名	2名	2名	2名		
選抜試験	筆記試験および面接試験				面接試験		
必要資格 ※1	TOPIK やハングル検定など いずれかを受験していることが望ましい				TOEFLiBT59 点 IELTS 5.5 点	TOEFLiBT71 点 IELTS 6.0 点	英検、 TOEFLiBT、 TOEIC IELTS い ずれかを受験結果
授業料 納入先	下関市立大学				下関市立大学	グリフィス大学 (下関市立大学の 授業料は免除)	GELI (下関市立大学の 授業料は免除)

- ※1 選抜試験までに語学力を証明できる検定を受験していることは必須ですが、スコアについては、選抜試験時に到達していなくても申込みが可能です。(派遣までに語学力向上に努めてもらいます)
- ※2 韓国の3大学については、選抜試験及び派遣の際に語学力の証明は必須ではありませんが、派遣先での履修の際に証明となる資格を取得しておくことが望ましいです。
- ※3 又松大学校は韓国にある大学ですが、英語で留学する協定校です。詳細は、国際交流センターにお問い合わせください。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事前準備	申込み		学内選考	派遣決定	留学申請						留学開始	
ハングル検定やTOPIK、TOEFLiBT、IELTS など各種資格を取得	申請書、応募理由書、自己推薦書、成績証明書、資格証明書を準備		筆記試験、面接試験など		履修計画、出発前説明会、保険加入など							

外国研修

外国研修とは、長期(夏・春)休業中に2～5週間、海外の協定校で行う語学研修です。外国研修では、語学研修だけでなく様々な文化体験や交流行事が予定されています。

外国研修(英語)は、アメリカ、オーストラリアなどで3～5週間、外国研修(中国語)は、中国や台湾で2～3週、外国研修(韓国語)は、韓国で2～3週間実施します。

外国研修は正規の授業科目で、単位認定(2単位)されます。

この単位は、学期ごとの履修制限単位数の制限外です。

過去の記録

※2020～2022年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響のため非開講でした。

	2023年度			2019年度<参考>		
	受入機関	国/地域名	人数	受入機関	国/地域名	人数
英語	グリフィス大学附属 英語学校 GELI	オースト リア	12名	クイーンズランド大学 附属英語学校 ICTE-UQ	オースト リア	17名
中国語	非開講			青島大学	中国	27名
韓国語	東義大学校	韓国	18名	東義大学校	韓国	28名
	(合計) 30名			(合計) 72名		

私費留学

海外の大学や語学学校などへ個人的に留学をすることができます。留学先は、本学の協定校や附属の語学学校、その他の大学や大学附属の語学学校、語学専門学校など選択肢は様々です。

また、本学を休学して、海外の大学や短期大学などに私費で留学する単位認定私費留学制度もあります。

単位認定私費留学とは

外国の大学又は短期大学等で単位認定を目的として学修します。

単位認定を目的とする私費留学を希望する場合には、留学開始前に国際交流センターで所定の手続きを行い、承認を受けなければなりません。

帰国後に単位認定申請を行うことで下関市立大学の修得単位数に認定されます。

ロス・メダノス・カレッジ(LMC)

アメリカ・ピッツバーグ



概要

ロス・メダノス・カレッジ(LMC)は、1974年にコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ・ディストリクト(CCCCD)に属するコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ(CCC)、ディアブロ・バレー・カレッジ(DVC)に続く、3番目のコミュニティカレッジとして設立されました。LMCは、カリフォルニア州ピッツバーグ市に位置し、修業期間2年のコミュニティカレッジです。大学名の語源はスペイン語であり、ロスとは内陸、メダノスとは砂丘の意味で、内陸の砂丘の大学という意味になります。

メインキャンパスは、サンフランシスコの東約65km、オークランドのパークレイの東50kmに位置し、最寄りの空港はオークランド空港です。大学施設は、図書館、学部棟、プラネタリウム、音楽棟、陶芸棟など多くの建物で構成されています。2008年には新しく科学棟も設置されました。

学生数 約3,000人(フルタイム学生)

専攻

Administration of Justice (司法)、Anthropology (人類学)、Appliance Service Technology (電気サービス技術)、Art (芸術)、Automotive Technology (自動車技術)、Biological Science (生物科学)、Business (ビジネス)、Chemistry (化学)、Child Development (子どもの発育)、Communication Studies (コミュニケーション研究)、Drama (ドラマ)、Computer Science (コンピュータ科学)、Electrical Technology (電気技術)、Emergency Medical Services (救急医療サービス)、Engineering (工学)、English (英語)、Fire Technology (消防技術)、History (歴史)、Journalism (ジャーナリズム)、Kinesiology (運動学)、Liberal Arts (一般教養教育)、Management and Supervision (管理と監督)、Mathematics (数学)、Music (音楽)、Nursing (看護)、Physics (物理)、Process Technology (プロセス技術)、Psychology (心理学)、Real Estate (不動産)、Recording Arts (レコーディング芸術)、Sociology (社会学)、Transfer Studies (転送研究)、Travel Marketing (旅行マーケティング)、Welding Technology (溶接技術)、World Languages (世界言語)

キャンパス

2700 East Leland Road, Pittsburg, CA

Homepage : <http://www.losmedanos.edu/>



ディアブロ・バレー・カレッジ(DVC)

アメリカ・プレザントヒル



概要

ディアブロ・バレー・カレッジ(DVC)は、1949年にコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ・ディストリクト(CCCCD)に属する2年制のコミュニティカレッジとしてカリフォルニア州プレザントヒルに設立されました。

DVCはサンフランシスコから50kmの場所に位置し、Bay Area Rapid Transit (BART)という通勤電車の最寄り駅(プレザントヒル)までキャンパス内からバスが運行しています。DVCには74の学生サークルや組織があります。また、61ヶ国から集まった約900人の留学生在が学んでいます。

学生数 約6,700人(フルタイム学生)

専攻

ビジネス、企業会計、経営管理、ビジネスマーケティング、ビジネス不動産、化学、コンピュータ科学、建設、料理芸術、ダンス、歯科助手、歯科衛生士、演劇、幼児教育、経済学、教育、電気/電子技術、エネルギーシステム、工学、工学技術、英語、ESL、環境科学、映画、テレビ、電子メディア、中国語、コミュニケーション研究、コンピュータ情報システム、コンピューターネットワークテクノロジー、アラビア語、建築、芸術、アートデジタルメディア、美術史、天文学、生物科学、薬物依存研究、司法、連合保健、人類学、フランス語、地理、地質学、ドイツ語、健康科学、空調、歴史、園芸、人文、工業デザイン、イタリア語、日本語、ジャーナリズム、運動学、図書館技術、数学、音楽、音楽産業研究、栄養学、ペルシャ語、哲学、体育理論、物理学、配管、政治学、心理学、呼吸療法、ロシア語、社会科学、社会学、スペイン語、特別教育、スピーチ、蒸気フィッティング、トランスファー研究 等

キャンパス

Diablo Valley College: 321 Golf Club Road, Pleasant Hill, CA 94523 USA

Homepage : <https://www.dvc.edu/>



コントラ・コスタ・カレッジ(CCC)

アメリカ・サンパブロ



概要

コントラ・コスタ・カレッジ（CCC）は、コントラコスタコミュニティカレッジ自治区にある 3 つの大学(LMC、DVC そして CCC)の中で最も古く、最も多様な大学です。主にラテン系、アフリカ系アメリカ人、アジア系の学生に教育を提供している CCC は、サンパブロとリッチモンドのなだらかな丘陵地帯を走るワイルドキャットクリークに強調される、美しく自然豊かな 83 エーカーの敷地にあります。1949 年の開設以来、ウェスト郡地域で唯一の高等教育機関として模範的な教育サービスを提供してきました。CCC は、毎年 7,000 人以上の学生に教育サービスを提供しており、優秀な教員とスタッフが最高の学習環境の構築に専念しています。

キャンパスには、2016 年秋にオープンした新しい大学センターがあり、学生はすべての新しいアクティビティビルディング、本屋、ダイニングセンターを含む料理芸術プログラム施設を利用できるようになりました。キャンパスの中央には、新しい教室棟とコミュニティホール、キャンパスの管理スペースもあり、快適な居住空間で修学できます。

学生数 約 1,700 人（フルタイム学生）

専攻

司法、アフリカ系アメリカ人研究、人類学、天文学、自動車サービス、生物科学、ビジネス、ビジネスオフィステクノロジー、化学、コンピューター情報システム、コンピューターサイエンス、料理芸術、幼児教育、地球科学、経済学、救急医療サービス、工学、英語、ESL、地理、地質学、健康教育、健康ヒューマンサービス、歴史、人文科学、ジャーナリズム、ラ・ラザ研究、教養学、数学、メディア、医療支援、音楽、看護、哲学、体育、物理学、政治学、心理学、法学、不動産、社会学、スピーチ 等

キャンパス

500 Court Street, Martinez, CA 94553

Homepage : <https://contracosta.edu>



ボアジチ大学

トルコ・イスタンブール



概要

ボアジチ大学（トルコ語：Boğaziçi Üniversitesi）は、トルコ共和国の西部に位置し、ボスポラス海峡を挟んで東西に広がるイスタンブール市にある国立大学です。「ボアジチ」はトルコ語で、ボスポラス海峡のことを指します。

1863年にアメリカ本国外に始めて創設された高等教育機関であるロバート・カレッジを通じてアメリカの教育システムを持つ大学として設立されました。

ボアジチ大学には、トルコの大学入試システムである YGS-LYS（Student Selection and Placement System）で入学を希望する学生が最も多い大学です。

ボアジチ大学には、9つの学部と43の学科があり、多くの学生が入学を希望していることにより、教育、工学、社会科学、応用化学の分野において、優秀な学生が多数入学してきます。

学生数 約 15,000 人（内 留学生約 500 人）

学部

Faculty of Arts and Sciences（学芸学部）

Faculty of Economics and Administrative Sciences（経済学・行政学学部）

Faculty of Education（教育学部）

Faculty of Engineering（工学部）

The School of Applied Disciplines（応用分野学部）

The School of Foreign Languages（外語学部）

Ataturk Institute for Modern Turkish History（近代トルコの歴史のためのアタチュルク研究所）

Institute of Biomedical Engineering（医用生体工学研究所）

Institute of Environmental Sciences（環境科学研究所）

キャンパス

South Campus Guneş Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

North Campus Kuzey Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

Hisar Campus Hiser Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

Uçaksavar Campus Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

Kandilli Campus 34684, Cengelkoy, Istanbul

Saritepe Campus Bogazici Universitesi Saritepe Kampusu 34450 Sariyer, Istanbul

Homepage : www.boun.edu.tr/en-US/Index





ルートヴィヒスハーフェン経済大学

ドイツ・ルートヴィヒスハーフェン

概要

1965年に設立されたルートヴィヒスハーフェン経済大学は、ビジネス系の学術分野において、質の高い教育および研究に定評のある大学です。教学面での国際化にも非常に力を入れていて、海外でも高い評価を受けています。

2014年に本学との協定を締結した東アジアセンターは、1988年に設立され、経営学と日本学（または中国学）という二つの学科を、一つの専門コースとして組み合わせ、同時に学ぶことができるようになりました。約180人の学生は卒業時に日本または中国事情に詳しい「経営学士」の資格を得ることができますが、経営学士の資格を得る条件として、最低1年間の日本、または中国への留学を義務付けられています。

沿革

1988年－ラインラント・プファルツ州立大学 ルートヴィヒスハーフェン校にモデル校として試験的に「東アジアマーケティング学科」を設立

1992年－日本科を増設

1994年－第一期生 経営学士（Diplom-Betriebswirt FH）として卒業

1997年－現在の建物に入居「東アジアセンター」と名称の変更

2004年－卒業資格をDiplom からBachelor に変更

2008年－中部・東ヨーロッパセンター(MOI)増設、設立20周年

学生数 約4,500人（内 留学生 約100人）

学部4学部

Department of Management, Controlling, Healthcare（管理、管理会計、医療介護学部）

Department of Marketing and Human Resource Management（マーケティング、人的資源管理学部）

Department of Services and Consulting（サービス、コンサルティング学部）

Department of Social Work and Health Care（福祉、保健医療学部）

キャンパス

4 67059 Ludwigshafen am Rhein

Homepage : <http://www.hs-lu.de/en>.



アルゴマ大学

カナダ・スーセントマリー



概要

アルゴマ大学での教育は、伝統と豊かな歴史に彩られています。1873年当時、シングウォーカーホールと呼ばれる北米先住民族の子供たちが通う学校が設立されたのが始まりでした。

「小さな大学、豊かな教育」をモットーとしており、クラスの定員人数を少なく設定し、学生達に教室内での意見発表、活発なディスカッションを行い、独自の考えを持つことを推奨しています。授業が終わった後でも、サポートやガイダンス、指導などを気軽に受けられるようにしています。

また、アルゴマ大学は25以上の学位を授与できる多様性を備えている大学ですが、自分にふさわしい居場所を見つけられる、いわゆる「コミュニティ意識」を根付かせるのに手頃なサイズの大学です。

アルゴマ大学は3学期制度（秋学期：9月開始、冬学期1月開始、春学期5月開始）を採用しています。

校舎は、スーセントマリー市の昔ながらのランドマークとして有名で、セントマリー川を一望できます。また、スーセントマリー市は、世界保健機構(WHO)により、安全な国際コミュニティに指定されています。人口7万5千人のスーセントマリー市は、五大湖の中心部、アメリカとの国境に位置しています。地域の中心を担う便利な街というだけでなく、大自然の美しいアルゴマ地区がすぐそばにあり、都会のライフスタイルと精神的・身体的・社会的・文化的・知的な満足度高い日常生活の両方が手に入る都市のひとつでもあります。

学生数 約 1,600 人 (内 留学生約 20%)

専攻

会計学、アニッシミーパーモイヌ（原住民の言語）、生物学、経営学、コミュニティディベロプメント、地域経済社会開発、コンピュータ科学、経済学、英語とメディア、金融と経済、美術、フランス語、地理学、歴史、法と司法、数学、音楽、政治学、心理学、ソーシャルワーク、社会学

キャンパス

Algoma University 1520 Queen Street East Sault Ste. Marie, Ontario

Homepage : <https://www.algomau.ca/>

※ アルゴマ大学(カナダ)との協定は、2024年3月17日をもって終了しました。



サンフランシスコ州立大学

アメリカ・サンフランシスコ



概要

アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ市レイクマーセド地区に本部を置くアメリカ合衆国の公立大学です。23校あるカリフォルニア州立大学機構の一つであり、レイクマーセド地区にメインキャンパス、ダウンタウンにビジネススクールキャンパスを構える総合大学です。学部においては112分野、大学院では96分野のコースを提供しています。また、カリフォルニア大学バークレイ校、カリフォルニア大学サンフランシスコ校と共同となる4つのコースも提供しています。

沿革

1899年創立

1899年大学設置

学生数 約26,000人（留学生数 約950人）

学部等

College of Liberal & Creative Arts (リベラル&クリエイティブアーツ学部)

Lam Family College of Business (ラムファミリービジネスカレッジ)

Graduate College of Education (大学院教育学研究科)

College of Ethnic Studies (民族学部)

College of Health and Social Sciences (健康社会科学部)

College of Science and Engineering (理工学部)

キャンパス

San Francisco State University Student Services Bldg. San Francisco, CA 94132

Homepage : <https://www.sfsu.edu/>



ボルドー・モンテーニュ大学

フランス・ペサック

概要

ボルドー・モンテーニュ大学は、フランスのペサックにある国立大学で、メインキャンパスはボルドー市中心部から約 8 キロ南西に位置しています。芸術、言語学、経営学、人文科学の分野を中心に、学士、専門学士、修士、博士の学位を提供し、これらの分野全てで重要な研究を行なっています。

沿革

ボルドー市およびその周辺の公立大学の再編成が行われた 1970 年に設立され、設立後 20 年間ボルドー 3 大学 (Université Bordeaux 3) として知られていました。1990 年、当時のヌーヴェル＝アキテーヌ地域出身の哲学者ミシェル・ド・モンテーニュにちなんで Université Michel de Montaigne Bordeaux 3 となりました。2014 年、ボルドー 3 大学全体が統合され、Université Bordeaux Montaigne と名前が簡素化されました。2020 年には、創立 50 周年を迎えました。

学生数 約 15,000 人 (留学生数 約 1,200 人)

専攻

国際関係、フランス語教育センター、国土開発学科、都市計画学科、文学学科、言語学科、美術史学科、考古学学科、情報・コミュニケーション科学、外国語学部、法学部等
モンテーニュ・ヒューマニティーズ博士院

キャンパス

19 Esplanade des Antilles F-33607 Pessac Cedex

Homepage : <https://www.u-bordeaux-montaigne.fr/fr/index.html>



北京大学

中国・北京市



概要

北京大学は 1898 年に創設された中国初めての国立総合大学です。現在は、多様な部門の教育と研究の中心になる新しいタイプの教育機関になっています。その前身は清朝末に設置された京師大学堂で、辛亥革命の翌年である 1912 年に北京大学と改称し、1952 年に現在の敷地に校舎を移しました。以降今日に至るまで中国の最高学府としての地位を内外に誇っています。

北京大学は、社会主義の近代化を追求するために専門的な知識と技術、そしてレベルの高い人材育成と科学の重要なテーマについての研究を連携させています。この連携は教育と研究の向上だけでなく、様々な分野の促進と相互作用を追求しています。

1950 年代に外国人留学生の受入れを開始し、中国語教育にも力を入れています。北京大学は、大学や研究機関、ハイテク企業が多く集まり、中国のシリコンバレーとも呼ばれる中関村に位置します。北京の名所の圓明園や映画「西太后」の舞台となった頤和園も周辺にあり、落ち着いた環境の中で学習することができます。

学生数 約 30,000 人

学部

〈理学部〉

数理科学学院、物理学院、化学分子工学院、ライフサイエンス学院、都市環境科学院、地球および宇宙科学院、心理・認知科学院、建築・景観設計学院、情報科学及び工学部、電子工学科コンピューターサイエンス学院、工学院、コンピューター科学技術研究所、環境理工学院、ソフトウェア&マイクロエレクトロニクス学院、国立ソフトウェア工学研究センター

〈人文学部〉

中国語文学院、歴史学院、考古学院、哲学および宗教学院、外国語学院、芸術学院、第二言語として学ぶ中国語学院、歌劇研究協会

〈社会科学部〉

国際関係学院、法学院、情報管理学院、社会学院、政府管理学院、マルクス主義学院、大学院教育学研究学院、ジャーナリズム・コミュニケーション学院、体育教研学院、ニュースおよびメディア学院

〈経済管理学部〉

経済学院、光華経営学院、人口研究所、国家発展研究院、

〈医学部〉

基礎医学院、薬学院、公衆衛生学院、看護学院、医学人文科学研究所/基礎教育学部健康科学センター、継続医学教育学院、附属病院（8 病院）

キャンパス

- 本部キャンパス 北京市海淀区頤和園路 5 号
- 海淀キャンパス 北京市海淀区学院路 3 8 号
- 昌平キャンパス 北京市昌平区十三陵鎮西山口村
- 大興キャンパス 北京市大興工業開發区金苑路 2 4 号
- 無錫キャンパス 江蘇省無錫市濱湖区大学城狀元道 5 号
- 深圳キャンパス 広東省深圳市南山区西麗鎮水路 2 1 9 9 号



Homepage : <http://english.pku.edu.cn/>



青島大学

中国・青島市



概要

青島大学の歴史を遡ると、二つの源に辿り着きます。

一つは 1909 年に創立された青島特別高等専門学堂です。歴史の変遷に従い、その医学教育が異色を放ち、青島医学校、青島医科大学、青島医学専門学校と校名が変わる時期がありました。もう一つは 1924 年に創建された私立青島大学です。その後国立青島大学、国立山東大学と呼ばれる時期がありました。

1946 年、国立青島大学は青島医学専門学校と合併し、医学院を設置しました。1956 年、医学院は山東大学から独立し、青島医学院となりました。1958 年に山東大学は済南に移り、1985 年青島大学は再度創立されました。1950 年に創立された青島紡織技術学校は青島紡織専門学校、山東省紡織工業学校などの時期を経て、1978 年に山東紡織工学院と改名されました。

1951 年に創立された青島教師研修学院は青島師範学校などの時期を経て、1981 年に青島師範専門学校に改名されました。1993 年、その当時の青島大学、青島医学院、山東紡織工学院と青島師範専門学校の四校は合併して、今の青島大学になりました。

学生数 約 46,000 人 (内 大学院生 9,800 人、留学生 1,600 人)

学院

〈理学 工学〉

材料科学と工程学院、電子情報学院、紡織服装学院、化学化工学院、環境科学と工程学院、機電工程学院、コンピュータサイエンステクノロジー学院、生命科学学院、データ科学とソフトウェア工程学院、数学と統計学院、物理科学学院、応用技術学院、自動化と電気工程学院

〈人文学 社会学〉

公共外国語教育学院、国際教育学院、法学院、経済学院、観光と地理科学学院、マルクス主義学院、美術学院、商学院、師範学院、教師教育学院、体育学院、文学院、外国語学院、マスメディア学院、音楽学院、哲学と歴史学院、政治と公共管理学院

〈医学〉

公共衛生学院、看護学院、基礎医学院、口腔医学院、薬学院、附属病院、附属心臓血管病医院

キャンパス

浮山キャンパス (本部キャンパス)	青島市寧夏路 308 号
金家嶺キャンパス (イーストキャンパス)	青島市嶗山区科大支路 62 号
松山キャンパス (ウェストキャンパス)	青島市北区登州路 38 号



Homepage : <https://englsih.qdu.edu.cn/>

銘傳大學

台灣・台北市



概要

銘傳大学の前身は 1957 年に設立された「銘傳女子商業専科学校」で、台湾で最も歴史ある女子商業専門学校です。1997 年に総合大学への昇格が認められ、現在では、修士課程、博士課程を併せ持つ男女共学の総合大学となっています。2010 年にアジア初の米国認証評価（MSCHE, Middle States Commission on Higher Education）取得大学となり、2012 年に 4 月にアメリカの Saginaw Michigan 州（サギノーバレー州立大学構内）にも分校を設立しました。銘傳大学は、「国家、並びに社会の発展を支える、責任感・倫理観・国際的視野・ビジネス感覚を備えた専門人材の育成」を教育の目標としています。創設者は台湾の経済発展にはビジネス人材が欠かせず、若い世代の教育が非常に重要になるという信念のもとに開学し、現学長も、創設者のこうした理念を受け継ぎ、「知識経済」時代と言われる今日に求められる優秀な人材の育成に力を注いでいます。現在までに 11 万人を超える卒業生を輩出しています。

学生数 約 20,000 人（内 大学院生 約 1,700 人、留学生 約 2,100 人）

学部

学部は、管理、マスコミ、デザイン、情報、観光、教育応用語文、健康、社会科学、法律、国際の 10 学部です。キャンパスは、台湾の台北・桃園・金門・馬祖、そして米国の Saginaw Michigan 州の 5 カ所にあり、学習支援を目的に、附属図書館・情報ネットワークセンター・総合教育センター・英語語学センター・中国語学文化センター・生涯教育センター・進路相談室・カウンセリング室・出版センター・教員育成センター・R & Dセンターなどが設立されています。

また、金融リサーチセンター・メディアリサーチセンター・中国情勢リサーチセンター・S M E インキュベーションセンターの 4 つの研究部門も併せもっています。

1990 年に「応用日語組」がつけられ、1996 年に応用日本語学科が設立されました。修士課程もあります。日本人教員を含む常勤教員が充実しています。『銘傳日本語教育』という研究誌も刊行し、日本語教育に関するシンポジウムも毎年行っています。

キャンパス

Taipei Campus 250 Zhong Shan N. Rd., Sec. 5, Taipei

Taoyuan Campus 5 De Ming Rd., Gui Shan District, Taoyuan City

Jihe Campus 3F-8F, No.130, Jihe Rd., Shihlin District, Taipei City

Kinmen Campus 105 De Ming Rd., Jinsha Township, Kinmen County

Michigan Location Gilbertson Hall,

Saginaw Valley State University, 7400 Bay Road, Saginaw, MI

Homepage : <https://web.mcu.edu.tw/ja>



東義大学校

韓国・釜山広域市



概要

東義大学校は、釜山に15大学ある4年制大学のうちで、2番目に規模が大きく、美しいキャンパスを持ち、21世紀にふさわしい学生中心の教育環境と革新的な教育改革プログラムを提供しています。

東義大学校は1977年慶東工業専門学校を前身として設立されました。1979年東義大学に改編され、持続的な成長と発展を重ね、開校5年目の1983年に4年制の総合大学に昇格し、1989年韓医科大学が設立されて仁術を通じた社会奉仕の大きな役割を果たしています。現在9つの学部、6つの大学院、14の附属機関、40の研究施設、産学協力団傘下の16の附属機関と漢方医科大学附属韓方病院及び田浦総合社会福祉館、東義保育所があります。

また、スポーツの名門校でもあり、野球部、サッカー部の全国大会優勝をはじめ、フェンシング部はアジア大会においてメダルを獲得するなど、優秀な選手の育成にも努めています。さらに、映像大学ではイタリアの国際短編映画祭で特別賞を受賞するなど、様々な専門分野において優秀な総合大学です。

学生数 約22,000人（内 大学院生 約600人、留学生 約300人）

学部 9学部 78学科

Humanities and Social Sciences（人文社会科学学部）

Business & Economics（商経学部）

Natural Sciences（自然科学部）

Nursing, Healthcare Sciences and Human Ecology（医療保健生活学部）

Korean Medicine(東洋医学部)

IT Convergence College of Components and Materials Engineering(IT融合部品素材工学部)

College of Engineering（工学部）

College of ICT (Information and Communication, Technologies) Engineering

(ICT [情報通信、テクノロジー] 工学部)

Art, Design and Sport Science（芸術デザイン体育学部）

キャンパス

伽倻キャンパス 釜山広域市釜山鎮区殿光路 176

楊亭キャンパス 釜山広域市釜山鎮区楊亭路 52-57

Homepage : <https://eng.deu.ac.kr/eng>





木浦大学校

韓国・務案郡



概要

木浦大学校(Mokpo National University)は、朝鮮半島南西部の重要都市である木浦市に位置しており、キャンパスは韓国で神聖視されている山の一つである僧達山(Seungdal-Mountain)のふもとにあります。

木浦大学校の第一の教育目標は、個々が選んだ研究分野における学術的理論や方法論を教えることで、才能ある学生を育成し国家および人類全体の繁栄に寄与することです。また、全羅南道における重要な高等教育機関としての役割を果たすため、アジア太平洋地域をはじめとした世界各地の大学との国際交流ならびに交流協定を推進し、木浦大学校を競争力のある国際的な大学にするよう意欲的に取り組んでいます。さらに木浦大学校は、理論と実践を兼ね備えた地域基盤の国際的な才能を養育・生み出すことで、地域発展につながるよう目指しています。

木浦大学校の教育哲学、教育理念である「創造・高潔・奉仕」に従って、地域社会を率いる力強いリーダーシップを持った人材を育てることにまい進しています。

沿革

- 1946年 木浦師範学校設立
- 1963年 12月 木浦教育大学に改編
- 1978年 3月 木浦初級大学になる
- 1979年 3月 4年制の国立木浦大学になる
- 1990年 3月 総合大学に昇格し、木浦大学校となる

学生数 約 13,000 人 (学部生 約 11,600 人、大学院生 約 1,400 人)

学部

- Humanities (人文学部)
- Social sciences (社会科学学部)
- Natural sciences (自然科学学部)
- Engineering (工学部)
- Business Administration (経営学部)
- Human Ecology, Arts and Physical Education (生活科学芸術体育学部)
- Education (教育学部)
- Pharmacy (薬学部)
- Liberal Education (教養教育学部)

キャンパス

- 木浦キャンパス 全羅南道木浦市南農路 41 番キル 11
- 南岳キャンパス 全羅南道務安郡三郷邑南岳里 2540
- 道林キャンパス 全羅南道務安郡清溪面栄山路 1666

Homepage : <https://eng.mokpo.ac.kr/index.9is>



釜山外国語大学校

韓国・釜山広域市



概要

キリスト教精神に基づき設立された私立外国語大学で、語学教育を基盤とした多言語・多文化教育や、語学と IT 又はビジネス関連技能を融合させるカリキュラムで、国際社会で活躍するグローバル人材の育成を目指しています。また、日本語専攻者数が韓国内で最も多い大学で、日本人教員数も最も多く、日本との交流に積極的です。

学生数 約 9,600 人 (内 韓国人学生 約 8,900 人、外国人留学生 約 700 人)

沿革

- 1950 年 12 月 財団法人盛昌学院設立
- 1981 年 11 月 学校法人盛智学院に変更
- 1981 年 12 月 釜山外国語大学設立
- 1982 年 3 月 釜山外国語大学開校
- 2014 年 2 月 南山キャンパスに移転



学部

〈ヨーロッパ & 米州大学〉

英語学部、フランス語科、ドイツ語科、スペイン語科、ポルトガル語科、イタリア語科、ロシア語科、トルコ・中央アジア語科、ヨーロッパ地域通商学科

〈アジア大学〉

韓国語教育学科、日本語融合学部、中国学部、タイ語科、インドネシア・マレーシア学科、ベトナム語科、ミャンマー語科、インド地域通商学科、アラブ学科、G2 融合学科

〈社会科学大学〉

映像コンテンツ融合学部、相談心理学科、社会福祉学科、国際学部、外交・国際開発学部、警察行政学部、サイバー警察学科、サイバー融合保安学科、社会体育学部、スポーツリハビリテーション学科

〈商経大学〉

経営学科、スマート資産経営学科、国際マーケティング学科、国際貿易学科、経済金融学科、国際秘書学科、航空サービス学科、ホテル・観光学部

〈IT 大学〉

コンピューター工学科、ソフトウェア学部、人工知能融合学科、ビッグデータ学科

キャンパス

65, Geumsaem-ro 485beon-gil, Geumjeong0gu, Busan, Korea

Homepage : <http://www.bufs.ac.kr/>





又松大学校

韓国・大田市



概要

又松大学校は、1954年に設立されたウソン教育財団に属しており、12,000人を超える学生と780人の教授を擁し、教育や研修において優れた取り組みを行ってきた長い歴史があります。

又松大学校は実践と理論に基づいたカリキュラムを提供する専門大学で、韓国教育省によって自治的なトップクラスの大学としてランク付けされています。現在、ソルブリッジ インターナショナル スクール オブ ビジネス、エンディコット インターナショナル スタディーズ カレッジ、JW キム カレッジ オブ フューチャー スタディーズの3つのインターナショナル スクールを擁しています。インターナショナルスクールでの教育は、国際的に著名な教授陣によって英語のみで開講しています。

学生数 約 12,723 人

沿革

1954年4月17日 又松教育財団創立

1995年3月18日 又松大学校開校（8学部、950名の学生が入学）

学部

融合経営、グローバル融合ビジネス、グローバルホテルマネジメント、AI・ビッグデータ、Endicott 自律融合、鉄道建設システム、鉄道システム、鉄道経営、建築工学、物流システム、鉄道車両システム、IT 融合、テクノメディア融合、外食調理、グローバル調理、外食調理栄養、バイオ食品化学、外食調理経営、ホテル観光経営、ヒューマンデジタルインターフェース、社会福祉、物理療法、作業療法、保健医療経営、言語聴覚療法、救急救命、消防安全、看護、乳幼児教育、スポーツ健康リハビリテーション、ビューティーデザイン経営

キャンパス

27 Baengnyong-ro 57beon-gil, Jayang-dong, Dong-gu, Daejeon, Korea

Homepage : www.wsu.ac.kr/en





ハンシン大学校

韓国・ソウル特別市



概要

1940年に基督教の精神に基づき設立された韓信大学は、真理、自由、愛の実践を教育理念として、歴史の険しい道を長い時間歩んできました。ハンシン大学校は柔軟な思考と創造性、深い洞察力と広い知識を備え、平和と自由、真理という価値を理解し実践するグローバル平和のリーダーを育成します。

沿革

- 1939年 朝鮮神学院設立準備会結成
- 1940年 ソウル仁寺洞昇東教会で朝鮮神学院開校
- 1951年 韓国神学大学校に校名変更
- 1992年 ハンシン大学校に校名変更

学生数 約 5,400 人（留学生数 約 400 人）

学部

神学・人文科学科、経済貿易国際局、グローバル・行政学科、ビジネス&メディア学科、社会福祉学、適応体育学科、科学技術部、AI・ソフトウェア学科

キャンパス

SEOUL CAMPUS : 159, INSUBONG-RO, GANGBUK-GU, SEOUL

OSAN CAMPUS : 137, HANSHINDAE-GIL, OSAN-SI, GYEONGGI-DO

Homepage : <https://www.hs.ac.kr/eng/index.do>





グリフィス大学

オーストラリア・ブリスベン



概要

グリフィス大学は、1971年に創立され、これまでに多様な研究分野を展開し、多くの卒業生を輩出してきました。130,000人以上の卒業生は、現在も国内外の各分野で活躍しています。

グリフィス大学はクィーンズランド州の州都ブリスベンと、観光都市として有名なゴールドコーストにキャンパスをもつ総合大学です。留学生を1988年に初めて受け入れ、現在は、約130ヶ国から集まった約9,000人の留学生が在籍しています。また、オーストラリアで初めて環境学、アジア研究を取り入れたほか、芸術、医学、スポーツ科学、教育、ホスピタリティ、観光学、ビジネス、国際関係など、伝統的な専門区分にとられない幅広い学問的なプログラムを提供しています。幅広い領域にわたる教育研究を行っているため、1つの専門領域にだけに偏らない、複合した領域を学ぶチャンスに恵まれています。

学生数 約40,000人（内 留学生 約9,000人）

専攻

- Business and Government
- Criminology and Law
- Education
- Engineering and Information Technology
- Environment, Planning and Architecture
- Health
- Humanities and Languages
- Music
- Science and Aviation
- Visual and Creative Arts



キャンパス

- Nathan Campus 170 Kessels Road Nathan, QLD
- Mt. Gravatt Campus 176 Messines Ridge Road Mt Gravatt, QLD
- South Bank Campus 226 Grey Street South Bank, QLD
- Logan Campus 68 University Dr Meadowbrook, QLD
- Gold Coast Campus Parklands Drive, Southport, QLD

Homepage : <http://www.griffith.edu.au/>

留学体験レポート

外国研修

外国研修（英語）

【研修先】 グリフィス大学付属英語学校（オーストラリア）

【滞在期間】 2023年8月12日～2023年9月10日（27泊30日）

【参加人数】 12名

【研修内容】

8月12日（土）	福岡～台北（CI117）21：00～22：25
8月13日（日）	台北～ブリスベン（CI053）23：55～10：45
8月14日（月）	オリエンテーション、クラス分け
8月15日（火）～ 8月18日（金）	9：00～13：30 授業 13：30以降 自由行動
8月19日（土） 8月20日（日）	終日 自由行動
8月21日（月）～ 8月25日（金）	9：00～13：30 授業 13：30以降 自由行動
8月26日（土） 8月27日（日）	終日 自由行動
8月28日（月）～ 8月31日（木）	9：00～13：30 授業 13：30以降 自由行動
9月1日（金）	祝日（Gold Coast Show） 終日 自由行動
9月2日（土） 9月3日（日）	終日 自由行動
9月4日（月）～ 9月8日（金）	9：00～13：30 授業 13：30以降 自由行動
9月9日（土）	ブリスベン～台北（CI054）22：50～5：45
9月10日（日）	台北～福岡（CI110）6：50～9：55

【滞在方法】 ホームステイ

【参加費用】

研修代金総額 649,300円

・プログラム費用 386,770円

ホームステイ費用（3食付き）、空港までの送迎、緊急サポート費用含む

・航空券・諸税 262,530円

空港諸税、燃油サーチャージ含む

ETA（電子渡航申請） 約1,800円

学研災付帯海外留学保険 約7,500円（30日間）

外国研修(英語)を通して

所属：国際商学科

氏名：土屋 瑠夏



夏休みの4週間、オーストラリアのゴールドコーストにあるグリフィス大学附属語学学校で外国語研修に参加しました。私にとって念願叶った初めての海外で留学でした。英語は好きですが、日々の授業や検定試験がいつどこで何のためにどのように役立つのかなか自分の中で見出すことが出来ずにいました。そこで実際に足を運び「伸び代を見つける」1か月にしようとテーマを立てて今回の研修に参加しました。

語学学校には各自公共交通機関を使って通いました。学校初日、1人という不安もありましたが、現地の人はとても優しく行き方を教えてくれました。授業は2時間が2コマあり、主にグループワークや長文読解、文法問題、そして毎週末はライティングの添削を行いました。1週間に1つのテーマが与えられ、それに関連するワードや文法などを学んでいきます。私のクラスではミステリーがテーマの週があり、実際にオーストラリアのミステリーを調べたり意見交換したりしました。また、アクティビティーの日がありミッションゲームなどをして楽しみました。ランチはホストマザーが毎日作って持たせてくれました。この経験ができるのもホームステイならではの醍醐味だと思います。授業後はホストファミリーや現地の友達におすすめを聞き、市大の友達と毎日どこに行くか決めてカフェやショッピング、ビーチなど日々ゴールドコーストを観光してとても楽しんでいました。

私のホストファミリーは小さな兄弟のいる4人家族で大きな犬も2匹いてとても賑やかな家庭でした。現地の英語は想像以上に早く、聞き取りにとっても苦労しました。特にホストブラザーの言葉の理解が難しく最初は愛想笑いで過ごすことがほとんどでした。しかし、食事やゲームなど一緒に過ごす時間が増えるにつれて会話も少しずつでき打ち解けていくことが出来ました。

今回の研修はテーマの通り、多くの伸び代を発見した1か月でした。今まで習った英語を活用できないもどかしさや思ったことをそのまま伝えられない悔しさも併せ、多くのことを経験しました。現地で、いかに自分が意見を持っていないかを痛感し、英語は意見を言語化して相手と意思疎通するために欠かせないツールであることに改めて気づかされました。現在でも心から戻りたいと思うほどオーストラリアが大好きになり今後のモチベーションに繋がるとも貴重で充実した1か月を過ごせたと思います。

参加費用以外の経費

通信費 2,500 円、交通費 30,000 円、課外アクティビティに参加する場合はアクティビティ費用、放課後や休日の娯楽費 70,000 円

滞在するのに持参した方がよいもの

パソコン（必ず）、機内持ち込み可のモバイルバッテリー、ネックピロー、サンダル、O タイプの電源プラグ 2 個または 2 口以上あるもの。フードのついてる上着・帽子・サングラス・日焼け止め（紫外線がとても強い）、半袖Tシャツ数枚（場所によるが季節が冬の場合も）、タンブラーや水筒（水が高価な為）、海外対応のタッチ決済できるクレジットカード。

参加してよかったこと

外国研修に行かなければ出会えなかった多くの素敵な人たちと出会えて繋がれたこと。今まで学んできた英語がどのように役立つのかを体感できたこと。自分の意見をもってしっかりと言葉で伝える大切さを学んだこと。今までの自分の甘えに気づいたり考え方を改めたりすることが出来たこと。

通学方法と所要時間

バス 10 分、エアポートトレイン 10 分、トラム 15 分の乗り継ぎ。所要時間は乗り継ぎを含め 1 時間程度だが、バスの遅延がある為、余裕をもって 30 分程度早めに家を出ていた。

授業後や休日の過ごし方、参加した課外活動

授業後は友達と毎日どこに行くか決めて観光していた。お気に入りのカフェやお店を見つけたりビーチに行ったりしていた。土日にはムービーワールドやカランビン動物園、ブリスベンに行ったりした。世界最大の航空フェスティバル Pacific Air Show も見に行けた。多くのフェスティバルにも参加した。毎週図書館で行われている英語学習者の為の English Conversation に参加し、学校以外の方ともお話しできた。ホストファミリーが女子サッカーのライブビューイングや屋内ゴルフに連れて行ってくれた。また、ホストファミリーの実家に行きその日本人留学生とも現在でも連絡を取り合うほど仲良くなった。

参加して不利益になったこと

不利益ではないが、語学学校でラスト 1 週間は多国籍クラスで学べた為良かったものの、3 週間はクラスの人が全員日本人で日本と何ら変わらない状況であった事がとてもショックだった。

外国研修(英語)を終えて

所属：国際商学科

氏名：藤本 早紀



私は2023年8月12日から約1か月間、オーストラリアのグリフィス大学附属英語学校で行われた外国語研修に参加しました。参加の理由は、外国の文化を実際に体験してみたいと思ったからです。オーストラリアは多民族国家のため、様々な国の文化に触れられる点を魅力に感じ応募しました。

語学学校では、平日9時～13時30分まで2コマの授業がありました。グループワークを主体とした授業形態で、フランス・タイ・コロンビア・台湾といった様々な国籍のクラスメイトと英語で話し合いながら授業を受けました。授業内容としては、英語の文献を読んだり、文法を学んだりしました。また、クラスメイトや先生の出身国の文化を紹介し合う授業もありました。例えば、「乗り物」がテーマの時間では、同じバスでも英国の2階建てバスで馴染みのある「ロンドンバス」や、コロンビアの乗合バスである「チバ」といったような初めて知るものもあり、面白かったです。

また、語学学校のチューターの方が非常に親切で、学校のことで分からないことや、オーストラリアの生活で困ったことも親身になって解決策を一緒に考えてくださり、大変助かりました。

ホームステイ先での生活は、文化交流をする最高の時間となりました。私はイングランド出身のホストファザーと、ニュージーランド出身のホストマザーの家庭にホームステイしました。家族が集まる夕食の時間を使って、オーストラリアでのクリスマス事情を教えてもらったり、ニュージーランドのデザートを食べたり、女子サッカーワールドカップのイングランドチームと一緒に応援したりしました。一方私も、日本地図を描いて日本のことを紹介したり、折り紙を折って日本文化を伝えたりしました。

オーストラリアで驚いたことは、食事が美味しかったことです。私の滞在先では、北欧系の肉やポテトの料理がメインでした。また、スーパーにある食材の種類が豊富で、調味料コーナーに醤油があったことが一番の衝撃的でした。

私は、今回オーストラリアでの外国語研修に参加して本当に良かったと実感しています。様々な国の人たちと仲良くなり、それぞれの国の文化を体験することができ、非常に有意義な時間を過ごせました。また英語力も研修前と比べて上がったと感じています。この研修で学んだことを忘れずに、これからも英語の勉強や異文化交流を積極的に行い、自身の視野を広げていきたいです。

参加費用以外の経費

通信費 3,000 円 (SIM 代)、交通費 20,000 円、
食費 10,000 円、交際費 50,000 円

通学方法と所要時間

片道 バスで 15 分 + トラムで 20 分

滞在するのに持参した方がよいもの

サングラス、洗濯ばさみ付きハンガー、タコ足、
日本や地元を紹介するガイドブック (写真付き)

授業後や休日の過ごし方、参加した課外活動

放課後は、買い物やカフェ、ビーチに行った。
休日は動物園や美術館、フェスティバルに行くなど、
必ず外に出て活動するようにしていた。

参加してよかったこと

異文化を体験することができたこと。
英語の実力を試せたこと。海外の友達ができたと。

参加して不利益になったこと

ありません。

外国研修（韓国語）

【研修先】 東義大学校（韓国）

【滞在期間】 2023年8月13日～2023年8月26日（13泊14日）

【参加人数】 18名

【研修内容】

8月13日（日）	福岡～釜山（BX141）11：45～12：40
8月14日（月）	9：00～14：20 オリエンテーション、プレースメントテスト、開講式 14：20以降 自由行動
8月15日（火）～ 8月19日（土）	9：00～14：20 授業、チューター交流 14：20以降 自由行動（文化体験の場合有り）
8月20日（日）	終日 自由行動
8月21日（月）	9：00～14：20 授業、チューター交流 14：20以降 自由行動
8月22日（火）	釜山シティツアー
8月23日（水） 8月24日（木）	9：00～14：20 授業、チューター交流 14：20以降 自由行動（文化体験の場合有り）
8月25日（金）	9：00～14：20 最終テスト、修了式、送別式 14：20以降 自由行動
8月26日（土）	釜山～福岡（BX146）14：00～14：55

【滞在方法】 東義大学校の寮

【参加費用】

研修代金総額 165,920円

・プログラム費用 122,350円

寮費（朝食付き）、釜山シティツアー（1回）、文化体験（3回）、空港までの送迎、緊急サポート費用含む

・航空券・諸税 43,570円

空港諸税、燃油サーチャージ含む

学研災付帯海外留学保険 約5,000円（14日間）

外国研修(韓国語)に参加して

所属：国際商学科

氏名：花元 響子



夏休みの2週間、韓国釜山にある東義大学校で行われた外国研修に参加しました。私は海外へ渡航することが初めてだったので、パスポートの準備や保険への加入など分からないことが多く、少し不安でした。しかし、国際交流センターの方々に手伝ってもらうことで無事に準備を進めることができました。

平日の午前中はレベルテストで分けられたクラスで1日2コマの授業を受け、午後からはチューターさんと一緒に韓国語の練習をするという時間が1コマほど設けられていました。私が受けたクラスでは大体が韓国語で授業が行われており、分からない単語があると丁寧に解説をしてくれたり簡単な単語に言い換えてくれたりと皆が理解できるような授業を心がけてくださいました。韓国で受ける授業では自分から進んで発言し、声に出して学ぶということが基本だったので韓国語のライティング能力だけでなくスピーキング能力も身に付けることができました。最初はクラスに同学年の友達が一人居かおらず授業についていけないのが不安でしたが、クラスの皆が協力し合うことで楽しく授業を受けられ、実力を伸ばすことができました。

午後の韓国語練習の時間では、チューターさんと一緒に午前の授業で出された課題や授業で分からなかった部分の復習をしました。時間が余った場合には、2グループの人達と一緒に人狼ゲームをして遊んだりもしました。チューターさんの中には日本語が喋れる人もいれば全く喋れないという人もいます。私達のチューターさんはとても日本語が上手な方だったのですが、私の研修参加の目標が語学力向上のためであったのでチューターさんとは極力日本語は使わず、韓国語で会話をするようにしました。その事をチューターさんに話すと、今後どのように勉強したら良いのかについて一緒に考えてくれたり、研修の間も韓国語で日記を書き、その添削してくれたりとても親切に私たちに協力して下さいました。

自由時間では、大体ソミョンという場所にチューターさんや友達と一緒に出かけました。チューターさんは私達が行きたい場所を優先的に案内してくれ、その中で公共交通機関の利用方法やお店での注文方法などについて学ぶことができました。使い慣れていない韓国語を喋ることは難しかったですが、チューターさんに協力してもらいつつ韓国人の方とコミュニケーションをとることができたと感じました。

私はこの研修期間中にコロナウイルスに感染してしまいました。感染していると分かった後は、部屋を移動することになったり、コンディションや必要なものを報告するために先生方と連絡を取り合ったりしました。一番大変だったことは、韓国人の先生に毎日体調を報告する際に先生は日本語が喋れなかったため韓国語で状態を伝えないと行かなかったことです。日常で使う韓国語はある程度理解できていましたが、自分の体調を韓国語で伝えるという場面は想定していなかったため分からない単語が多く、伝えることも聞き取ることも難しかったです。しかし、この経験のおかげで新たに韓国語の単語を覚えることができ、貴重な経験となりました。

外国研修に参加して、2週間という短い時間でしたがその中で様々なことを経験することができました。私にとって今回の研修は初めての海外滞在でもあったので不安な気持ちも多少ありましたが、韓国で出会った先生方やチューターさん達が優しく親切に接してくれたおかげでとても充実した日々を送ることができました。外国研修で学んだ貴重な体験を活かし、今後は何事にも積極的に挑戦することを心がけ、様々な出会いを大切にしていきたいと思います。

参加費用以外の経費

通信費 約 22,000 円、交通費 約 800 円、食費 約 15,000 円

滞在するのに持参した方がよいもの

ハンガー、変換プラグ、Wi-Fi ルーター、常備薬(風邪薬や胃薬など)、のど飴

参加してよかったこと

今回参加してよかったことは、韓国語能力の向上だけでなく、コミュニケーション能力の向上や異文化の理解にもつながったことです。

通学方法と所要時間

徒歩で5分ほど

授業後や休日の過ごし方、参加した課外活動

授業後はチューターさんや友達と一緒に「ソミョン」という場所で買い物をしたり、デザートやご飯を食べに行ったりしました。

私が参加した課外活動は、韓服体験とビーズ工芸です。

参加して不利益になったこと

特にありませんでした。

外国研修(韓国語)を終えて

所属：国際商学科

氏名：吉森 ひなた



私は夏休みの2週間、韓国語の外国研修に参加しました。場所は韓国釜山広域市にある東義大学校です。来年同じ大学に留学する予定なので、その下見をすることがこの研修の目的でした。

まず韓国に到着して、最初にレベル分けテストを受けました。これは、個々のレベルに応じた授業を受けるために行われるテストです。私はこのテストの結果 C クラスでした。C クラスで習うことは、知っていることと知らないことが半々くらいの程よい難易度で、授業を受けることが楽しみでした。平日はほぼ毎日課題が出ますがそれほど多くはなく、午後チューターと交流をする時間で十分終わるくらいの量でした。チューターは、研修生2人に対して1人つきます。私は基本友人と一緒に行動していたので、担当外のチューターとも関わりがありました。例えば一緒にかき氷を食べに行ったり、買い物に行ったりしました。研修生だけだと動くことのできる範囲が狭いので、チューターと一緒にいてくれて安心しました。

今回の研修は楽しかったことばかりというわけではなく、波乱もありました。最も大変だったことは、新型コロナ感染症に罹患したことです。最初は、自分の体調や必要なものを韓国語で伝えることが難しかったです。しかし体調不良が3日ほど続くとフレーズを覚えてきて、スムーズに自分の体調を伝えられるようになりました。これはコロナにかからなかったらできなかったことだと思うので、海外で病気になるという貴重な経験ができて、良かったのかもしれない。

今回の外国研修全体を通して、海外で生活するために最も必要だと感じたことは積極性です。単語はわからないけれど何とか伝えようとする積極性、知らない人に自分から話しかける積極性、行ったことのない場所に行ってみる積極性など、この2週間、様々な場面で自分の積極性を発揮できたと思います。自分から動くことができたから学ぶことや楽しいことが多かつたし、何より自分が成長できたと思います。

研修に参加するにあたって、国際交流センターの方々、東義大学校の先生方、呉先生、チューターの方々からたくさんの支援がありました。そのおかげで、楽しいうえに自分が成長できる研修が行えたと思います。この研修を通じて、来年の留学がより楽しみになりましたし、韓国語の学習意欲も向上しました。この研修で学んだことを生かして、今後より一層韓国語勉強に励んでいきたいと思えます。

参加費用以外の経費

eSIM 5000 円、交通費 新下関-博多 往復約 6000 円、食費 15000 円、交際費 10000 円、お土産 25000 円

滞在するのに持参した方がよいもの

クレジットカード、変換機、ドライヤー（ドライヤーは、日本で普段使っているものを持っていくと爆発します。電圧を変えられるものを持っていくと良い。）

参加してよかったこと

韓国語の聞き取りや会話が以前よりできるようになったこと。
大学の雰囲気を知れたこと。

通学方法と所要時間

徒歩 5 分

授業後や休日の過ごし方、参加した課外活動

サポーターと西面に行く
文化体験（韓服、ビーズ）

参加して不利益になったこと

特になし

留学体験レポート

下関市立大学 協定校



所 属： 経済学部国際商学科
氏 名： 上門 美早紀
派遣大学： ルートヴィヒスハーフェン経済大学大学
派遣国／地域： ドイツ／ルートヴィヒスハーフェン
派遣許可期間： 2022年9月～2023年8月
履修期間： 2022年9月～2023年7月

自己成長

私は新型コロナウイルスの影響で一年間、留学が延期になりました。まずは、このような状況下で留学を実現させてくれた家族と大学関係者の皆様に感謝したいと思います。通常とは異なる状況で、留学の準備段階でも多くの課題がありましたが、何とか乗り越えて留学生活を始めることができました。

一年間の留学を通して、多くのことを学び、経験することができました。ここでは、学業と私生活の二つの面について述べたいと思います。まず、学業についてです。ルートヴィヒスハーフェン経済大学では、留学生向けの授業が英語で行われ、主に経済科目を履修していました。専門用語が多く、予習を怠ると授業当日に苦労することもありましたが、授業は実践的で、実際に企業のシステムを使って経営について学んだり、ためになる内容ばかりでした。教授も個々の意見をとても尊重してくれるので、自分の意見を持ち、積極的に発言することを心掛けました。また、留学と同時にオンラインで就職活動も行いました。周りに就職活動をしている友達は少なく、孤独感に駆られて辛い思いもしましたが、最終的には納得のいく結果を得ることができました。

次に、私生活についてです。私は、留学はいかに積極的に行動するかが留学の充実度を決めるとしており、後悔しないために留学中は様々なことに挑戦しました。参加できる行事には全て参加し、自ら声をかけて新たな友達もつくりました。はじめは受け身の性格でしたが周りの環境が私の性格を変えていきました。学校生活だけではなく日常生活でも、自分の意見を相手に伝えることが重要です。そして、留学で一番の思い出は人との出会いです。留学生との交流や旅先での出会いを通して、世界中に友達を作ることができました。彼らから前向きな姿勢や挑戦する力を学びました。留学中だけでなく帰国後も連絡を取りあうような友達もつくることができました。新たな価値観や様々な考え方に触れ、人との関りが私を大きく変えました。

また、ドイツは EU 加盟国であり、ヨーロッパの中心に位置しているため、国家間の移動が容易で、多くの国を旅行することができました。これはヨーロッパ留学の大きなメリットだと思います。教科書で見ていた歴史的建造物や絵画を実際に見ることができ、現地でしか体験できない貴重な経験をすることができました。

私はこの留学を通じて、自分自身が大きく成長できたと思います。そして、将来についても深く考え直す機会になりました。この経験を生かして、次の挑戦につなげていきたいです。留学は不安に感じることもあるかもしれませんが、得られるものがそれ以上だと思います。もし留学を迷っている人がいれば、後悔しないためにもチャンスがあるうちに挑戦することを強くお勧めします。



経費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 86,910 円/年
- ・ VISA 申請代金 30,000 円
- ・ 滞在中の経費 (ハウスシェアで滞在)

滞在費	47,000 円/月	入居申請料	0 円
食費	15,000 円/月	水道光熱費	家賃に込み
通学費	約 30,000 円/期 (セメスターチケット)		
携帯電話代金	1,200 円/月	インターネット代金	家賃に込み
授業料	下関市立大学に納付		
履修登録料	不要		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		前・後期 各 39,600 円	

履修

前期	DeutschA1.1、Germany Today、ERP Systems、International Management、Brand Management、English Business Skills	合計 11 単位
後期	DeutschA1.2、International Strategic Management、International Finance and issues of the World Economies nowadays	合計 5 単位

参加した活動 マンハイム大学のスポーツクラブ (バドミントンやバレー、ヨガなど様々なスポーツに参加可能)

メッセージ

派遣留学に参加して良かったこと

世界各国の友達から刺激を受けて価値観が大きく変わりました。また、ドイツは EU 国なので、簡単にヨーロッパ各国を旅行することができたこと。

派遣留学して不利益だと感じること

特になし

留学を考えている人へのメッセージ

日本では経験できないことが沢山ある。不安に感じることも多いと思うが、それ以上に得るものがある。後悔しないためにも、チャンスがあるうちに挑戦してみてください。

持って行った方が良いもの

C タイプ電源プラグ、日本食、薬、南京錠





所 属： 経済学部国際商学科
氏 名： 八木 佐紀志
派遣大学： ルートヴィヒスハーフェン経済大学大学
派遣国／地域： ドイツ／ルートヴィヒスハーフェン
派遣許可期間： 2022年9月～2023年8月
履修期間： 2022年9月～2023年7月

絆を未来へ

ドイツに留学しようと思った理由は、ドイツからの視点で経済の授業を受けることで国際的な視野を広げ、英語だけでなくドイツ語も習得したいと考えたからです。経済大国であるドイツが直面している経済の問題や貿易システムを学習することは国際商学科に所属する私にとってグローバルな視点を得られる絶好の機会だと考えました。特に印象に残っている授業は“International Finance and issues”です。この授業では SWIFT ネットワークの重要性和現代の国際金融システムの二面性を学びました。現代の金融システム下で EU の国々が一枚岩となり巨大な経済圏を作ることのメリットを知る一方で、経済的に弱い立場にある EU 加盟国がユーロを導入したくても導入できない状況に陥るなど、デメリットもあることを理解することができました。

ルートヴィヒスハーフェン経済大学には日本語学科があり、多くのドイツ人学生が日本への留学を目指して日本語を勉強しています。私は日本語の先生にお願いして、日本語の授業に参加させていただきました。授業に参加することを通じてドイツ人が日本語を学ぶときにどのようなところを難しく感じるのかを知り、母国語である日本語を多角的な視点から見つめなおすことができました。私の参加した日本語の授業の冒頭は、私が先週の出来事をドイツ語で現地の学生に話すことから始まります。それが私にとってドイツ語学習のモチベーションとなり、留学の終盤には出来事を話した上で現地学生の質問にも答えることができるようになりました。授業に参加することでお互いの国の言語や文化の理解が深まり、とても貴重な体験となりました。

私の最も印象に残っている思い出はクリスマスです。ドイツのクリスマスは家族との時間を誰もがゆっくりと楽しむ雰囲気でした。家族との時間をみんなが過ごせるよう、クリスマスの日にはスーパーマーケットなどは午後 3 時に閉まります。私はチューターの家族のクリスマスパーティーに招待していただきました。お昼過ぎから家族と一緒に夕食の準備をし、夕食会の直前には家族で集合写真を撮るなどして家族との時間を楽しみました。夕食後は家族それぞれが用意したプレゼントを家族同士で交換しました。事前に用意したプレゼントは包装でき次第、クリスマスツリーの前に置いていき、クリスマスの日には開封するスタイルでした。サプライズで私宛てのプレゼントもあり、ドイツの人々の誰でも温かく受け入れようとする気持ちに感銘を受けました。初対面にも関わらず、私を家族の一員のように迎えて下さり、家族愛にあふれたドイツのクリスマスを体験することができました。

私は下関市立大学に留学したドイツ人学生とドイツで再会しました。そして彼らはドイツで私の生活のサポートしてくれました。今度は私が下関市立大学に留学するドイツ人学生をサポートする番です。この交換留学ならではの“両大学の学生の絆”が今後も広がり続けていくことを願っています。



経費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 80,000 円/年
- ・ VISA 申請代金 16,000 円位
- ・ 滞在中の経費 (ハウスシェアで滞在)

滞在費	約 52,000 円/月	入居申請料	約 36,000 円
食費	約 41,000 円/月	水道光熱費	家賃に込み
通学費	約 30,000 円/期 (セメスターチケット)		
携帯電話代金	0 円	インターネット代金	約 2,200 円/月
授業料	下関市立大学に納付		
履修登録料	不要		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		約 5,000 円(前期のみ)	

履修

前期	Germany Today, German Class Level 1, Business English Skills など	合計 15 単位
後期	Germann Class Level 2, Introduction to Marketing, Workshop, International Finance など	合計 19 単位

参加した活動 特になし

メッセージ

派遣留学に参加して良かったこと

価値観が変わったこと。

派遣留学して不利益だと感じること

時差の関係で就職活動を思うようにできないこと。

留学を考えている人へのメッセージ

人生は一度きりなので、勇気を出して世界に飛び出しましょう!!

持って行った方が良いもの

お箸、日本の調味料、常備薬





所 属： 経済学部国際商学科
氏 名： 和田 大輝
派遣大学： アルゴマ大学
派遣国／地域： カナダ／スーセントマリー市
派遣許可期間： 2022年9月～2023年8月
履修期間： 2022年9月～2023年7月

世界との違いを感じた留学

高校生の時から海外留学に興味があり、市大に入学した大きな理由は留学制度だった。入学時点で留学を希望しており、英語の勉強をずっと続けていた。留学前に IELTS6.0 を獲得し、留学の権利を得たのは勉強のおかげである。英語が好きだったので、動画を見たり、下関や小倉などで出会った海外の友達と遊んで英語力を高め、英検準1級、TOEIC 875 点獲得し、自信满满で留学に臨んだ。英会話は躊躇なくでき、飛行機の乗り継ぎ時に何度もゲートが変わり、遅延があったが、サービスセンター等で聞き問題なく目的地まで辿り着くことができた。しかし、大学の最初のレクリエーションで他の学生と会話する際、現地生の英語のスピードについていくことができず、会話に入れなかった。それまで聞いていた英語は丁寧で優しいものだったと言うことに初めて気付いた。また、世界の様々な国から来ている学生の英語はアクセントの強いものも多く、聞き取ることが難しいことも多々あった。他の学生達は、アクセント差があっても問題なく会話をしており、自分の英語力の低さを感じた。日本にいる時は資格を取ったりして自信があったが、カナダに来て自分の英語力の低さを実感し、日本と世界との違いを感じた。日本で資格がどうか言っていた自分が恥ずかしいとさえ感じた。また、言語以外にも異文化理解や同性愛などについても日本は世界から遅れていると感じた。友達の中には同性愛の人も多く、そのことを周りに公表していた。自分は LGBTQ について何も知らなかったし、虹色の旗の意味すら知らなかった。カナダは多国籍でたくさんの国籍の人がいるが、人種差別をしないのはもちろん当たり前で、差別しないという積極的な意識があると感じた。カナダに来て初めて気づいたが、日本は人口のほとんどが純日本人で、世界的に見ると珍しい国であり、人種についてまだ差別的なところがある。純日本人でないと他と違うという風に考える人も多い。日本はアニメや先進的な国として世界から人気があるが、同時に人種差別をする国としても世界的に有名であることを知っているだろうか。初めて聞いた時は驚いたが、よく考えると他国と比べて確かに差別的なところはたくさんある。このように、日本にいると気が付かない世界や日本の様子をカナダに来て感じることもできた。大きな後悔は、留学前に IELTS のすべての技能で 6.0 以上を取らなかったことである。Over All 6.0 を獲得したが、writing は 5.5 だった。すべての技能で 6.0 以上でない学生は AUAP クラスを取る必要があり、それはとてもつまらない授業だった。カナダではクラスごとに授業料がかかり、特に留学生は1クラスごとに 20 万円ほどかかるので、取りたくないクラスに大金を払うのは辛かった。良かったことは、キャンパス内の寮に住んだことだ。過去の市大からの留学生はホームステイをしていたが私は寮を選択し、そのおかげでたくさんの友達ができ、サッカー部の活動にもスムーズに参加できた。最後に、留学を通して家族について考える機会が増えた。地球のほぼ反対側にあるカナダに来て、家族との距離を感じ、何より金銭面での大きなサポートを受けたので家族への感謝は忘れることができない。カナダは日本と比べると物価が高く、円安の影響もあり金銭的に苦しい留学だったが最後までサポートしてくれた家族には本当に感謝しており、家族への愛が深まった。世界と日本の差を感じ、身近なものの大切さに気がついた留学であった。



経費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 75,600 円/年
- ・ VISA 申請代金 26,000 円位
- ・ 滞在中の経費(キャンパス内寮に滞在)

滞在費	551,000 円/年	入居申請料	5,000 円/年
食費	385,200 円/年	水道光熱費	寮費に込み
通学費	キャンパス内のため不要		
携帯電話代金	5,000 円/月	インターネット代金	寮費に込み
授業料	626,100 円/秋学期	626,100 円/春学期	
履修登録料	不要		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		前・後期 各 39,600 円	

履修

前期	Interdisciplinary Inquiry, Introduction to Music 1, Leadership Development for University Success,	合計 9 単位
後期	Interdisciplinary Inquiry, Commercial Law, Social and Ethical Issue in Business	合計 9 単位

参加した活動 サッカー

メッセージ

派遣留学に参加して良かったこと

語学力が向上したこと。異文化体験ができたこと。

留学を考えている人へのメッセージ

金銭面は両親と相談して、語学力はできるだけ高めてから留学することをお勧めします。

派遣留学して不利益だと感じること

お金がだいぶかかったこと

持って行った方が良いもの

特になし





所 属： 経済学部国際商学科
氏 名： 今中 葵
派遣大学： グリフィス大学附属語学学校（GELI）
派遣国／地域： オーストラリア／ブリスベン市
派遣許可期間： 2023年3月～2023年7月
履修期間： 2023年3月～2023年7月

オーストラリアでの語学留学を終えて

2023年3月8日から7月29日にかけてオーストラリアのブリスベンにあるグリフィス大学附属語学学校で英語を学びました。もともと海外経験も、飛行機に乗ったことも一度も無く、海外の方と話すことをほとんどしてこなかったため、英語力に自信があったわけでもありませんでした。でも、何か自分の中でチャレンジになることをしてみたくて、入学後すぐにそのチャレンジ精神だけで本学の派遣留学生プログラムに応募してみました。約半年間の語学留学というと、英語は日本でも上達できるから、語学学校にいるほとんどは英語を学ぶアジア人で、ネイティブの人と話す機会が少ないからといった理由で「意味がない」と言われることも多いです。しかし、私にとってこの語学留学は、全て最高に充実した貴重な経験で、自信をもって意味があったと言えます。

最初は、ホストファミリーやクラスメイトが言っていることがひとつも分からず、戸惑うこともありました。授業中の英語でのプレゼンテーションやディスカッションは、英語以前に自分の中でしっかりとした意見を持っていることが重要だったので、特に難しかったです。授業を通してクラスメイトと意見を交わし、家ではホストファミリーやハウスメイトとその日にあったことなどを英語で共有し、積極的に発言していくことの積み重ねで、だんだんお互いに考えや気持ちが変わり、会話が楽しめるようになってきた時はすごく嬉しかったです。ハウスメイトは私を含めて4人で、基本日本人でした。1か月だけ同じ学校に通う韓国人のハウスメイトがいました。ホストファミリーやハウスメイトはいつも私の英語がどれだけ拙くても聞く姿勢を貫いてくれ、英語で発言することを恐れずにいれたので、恵まれた環境にいたなと感じています。また、私は宗教を持っていませんでしたが、ホストファミリーが毎週教会に連れて行ってくれました。教会のつながりでいくつかのコミュニティに参加し、週に3回ほどそのコミュニティの方々と一緒に夜ご飯を食べたり、一緒に英語を学んだり、学校の授業だけではネイティブの方やアジア以外のさまざまな国出身の方々と関わることは少ないので、良い機会でした。オーストラリアは土地も広くゆったりとしていて、自然が壮大で綺麗で、人々はよくも悪くも自由で、自然と自分らしくいられるようなこの国が大好きになりました。

たった5か月のうちで出会えた優しいホストファミリー、ハウスメイト、たくさんの友人のおかげで毎日が楽しくて、短期間でも留学を経験できて本当に良かったと思います。他人の目を気にすることなく好きなことに全力な人々に囲まれて、私もそんな生き方に憧れ、これから自分がどんなことをしていきたいのか考える良いきっかけにもなりました。初めてのことでだらけだった外国で、異文化に触れることや語学力の向上だけでなく、失敗を恐れず挑戦してみることに、新しい世界に飛び込んでみることに大切さを学びました。



経費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 37,000 円/5 カ月
- ・ VISA 申請代金 60,552 円
- ・ 滞在中の経費(ホームステイ)

滞在費	120,000 円/月	入居申請料	150,000 円
食費	ホームステイ代に含まれる	水道光熱費	ホームステイ代に含まれる
通学費	700 円/日		
携帯電話代金	1,000 円/月	インターネット代金	3,000 円/月
授業料	175,000/5 週間		
履修登録料	不要		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		保険料(OSHC)40,000 円、入学金 20,000 円	

履修

前期	英語 (5 週間プログラム×4 回)	合計 400 時間
後期		

※ グリフィス大学附属英語学校は修了書が発行され、単位認定はありません。

参加した活動 特になし

メッセージ

派遣留学に参加して良かったこと

語学力、コミュニケーション能力を高められるだけでなく、日本とは全く異なる人や文化に直接触れて多文化の良さに気づけた。

留学を考えている人へのメッセージ

初めてのことばかりで貴重な体験になった。不安なこともやってみれば何とかなることばかりだった。

派遣留学して不利益だと感じる事

半年間であまり単位が取れないこと。

持って行った方が良いもの

変換プラグ





所 属： 経済学部経済学科
氏 名： 久米 浩太郎
派遣大学： 銘傳大学
派遣国/地域： 台湾/桃園市
派遣許可期間： 2023年3月～2024年2月
履修期間： 2023年3月～2024年1月

留学体験記

2023年2月から約一年間、台湾の桃園市にある銘傳大学に留学しました。小さい頃から海外が好きで一度は海外での生活を体験してみたかったため、大学に入る前から留学しようと決めていました。新型コロナウイルスの影響で3回ほど留学が延期になってしまいましたが、留学を終えて振り返ってみるとやっぱり行って良かったと思いました。

台湾についての当初は、履修登録や生活の面などでバタバタしましたが、サポーターの学生たちに手伝ってもらったり、現地の学生がいろいろな場所へ連れて行ってきて、すぐに台湾の生活に溶け込むことができました。前学期は、日本語を中国語に翻訳する授業や英語の授業を受講して中国語、英語の語学力向上を目標に勉強しました。後学期は経済などの専門的な科目を中心に学習しました。授業でわからない部分は先生や友達に聞きにいき、課題やテストを無事に終わることができました。また、授業だけでなく学校行事やクラブ活動に参加し、多くの学生と交流することができました。日本語学科の学生と日本語、中国語を使って交流することもあり、お互いに教え合うといった関係を築くことができ、良い刺激になりました。

休日によく台北に出かけていました。台北市は桃園駅から1時間くらいで着きます。台湾は交通費が日本より安いので、気軽に遊びに行っていました。友達と一緒に夜市で食べ歩きをしたり、時には一人でグルメめぐりもしました。長期休みには、桃園市から遠く離れた台南市と高雄市に出かけ、その土地特有の慣習や食べ物を知ることができました。どの場所もそれぞれ違った良さがあり、そういったものを探してみるのも旅の醍醐味だと思います。

留学では語学力の向上もできましたが、それ以上に価値観が変わり視野が広がったことが大きな成果だったと思います。台湾は日本から飛行機で約2時間半と比較的近い距離にありますが、文化や価値観は全く異なっていて留学しなければ気づけないこともあります。多様な価値観と触れ合えたおかげで、相手の考えや意見も寛容に受け入れることができるようになったと感じます。台湾は東南アジアから移民してくる人々が多く、様々な文化が混ざり合っています。お互いの文化を知り理解を深めることができたというのが台湾留学での最も大きな収穫の一つです。この一年は今までで一番豊富な一年だったと思います。将来また海外で生活する機会があれば、この留学経験を活かして現地の文化や人々と関わっていきたいです。

また今留学をしようか迷っている人がいれば、短期でもいいので行くことをおすすめします。留学することで新しい自分を発見でき、異文化と触れ合っていく中で世界が広がります。皆さんにも留学することでしかできない体験をしてほしいです。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 95,750 円/年
- ・ VISA 申請代金 10,000 円位
- ・ 滞在中の経費(キャンパス隣接の寮に滞在)

滞 在 費	30,000 円/月	入居申請料	45,000 円/年
食 費	30,000 円/月	水道光熱費	3,000 円/月
通 学 費	大学隣接のため不要		
携帯電話代金	3,000 円/月	インターネット代金	寮費に込み
授 業 料	下関市立大学に納付		
履修登録料	不要		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		前・後期 各 2,000 円程度	

履 修

前 期	商通英文二、高級日讀、醫學與健康など	合計 18 単位
後 期	環境變遷與永續發展、國貿實務、國家與市場など	合計 10 単位

参加した活動 阿波踊り、ダンスサークル

メッセージ

派遣留学に参加して良かったこと

価値観・考え方が変わったこと、外国人の友達ができたこと、外国での生活を経験できたこと

留学を考えている人へのメッセージ

留学は行くべき。留学することで語学力が向上するし、新たな自分を発見し、多様な考え方が身に付く。留学したという経験は将来必ず役に立つと思う。

派遣留学して不利益だと感じること

卒業が遅れたこと、就活の時期と被ったこと

持って行った方が良いもの

特になし





所 属： 経済学部国際商学科
氏 名： 吉野 綾華
派遣大学： 銘傳大学
派遣国／地域： 台湾／桃園市
派遣許可期間： 2023年9月～2024年2月
履修期間： 2023年9月～2024年1月

留学を通して学んだこと

台湾の銘傳大学に4ヶ月半留学しました。元々は、英語に興味があったためアメリカやカナダに留学しようと考えていましたが、下関市立大学入学時に第一言語として中国語を選択したところ、意外に面白かったため、せっかくなら中国語も英語も勉強できるところがいいと考え、台湾を選択しました。

銘傳大学では応用日本語学科に所属し授業を受け、クラスメイトと交流しました。1セメスターで合計15単位を取得しました。授業内容は、中国語翻訳・職場英語などの語学を中心に、その他に実務や台湾の歴史、観光地についても学びました。台湾留学中は孤独でいることは1度もありませんでした。助けを求めれば、誰かが手助けしてくれ、幸いにも授業が始まったその日にその後ずっと付き合っている友達と出会うことができました。また、留学生は語学力さえあれば、所属学部にとらわれず好きな授業を受講でき、本当に自由でした。日本の大学でさえ難しい経済学を外国語で勉強するのは至難の業ですが、1年間の留学であればチャレンジすると一気に成長できると思います。

留学中は学校だけでなく遊びにおいても日常的に挑戦が多かったため、9割は楽しい毎日でした。私のストレスとなった残りの1割は寮生活でした。ルームメイトは台湾人と日本人でしたが、どちらと付き合うのもなかなか難しく、寮に帰りたくないと思うこともありました。

一方で、留学中面白いと思ったのは「言葉の壁」です。「言葉の壁」のおかげで逆に、日本では付き合わないようなタイプの人たちと仲良くなることができました。日本より色々な人に話しかけやすかったため、さまざまな話や考え方を聞くことができ、勉強になりました。

他にも、留学中の活動として、グローバルミッションプログラムを行いました。このプログラムは、留学中に何か1つのテーマについて研究するという国際交流センターの活動です。私は、台湾人が日本や日本語に対して持っているイメージについて調査しました。よく台湾人は日本に対して良いイメージを持っていると言われます。アンケート調査により、日本に対する実際の意見を聞くことができました。先生にもお話を伺い、台湾と日本との歴史や台湾と中国との歴史についても意見を聞き、情報ではわからない台湾人の心境などを深く理解することができました。この活動は、私の留學生活での学びをさらに豊かにしてくれました。

私は半年間の留学でしたが、実際の留學期間は半年もありません。生活に慣れるまでは長く感じますが、慣れてしまえばあっという間に終わってしまいます。毎日予定を詰めたとしても、元々したいと思っていて結局できなかったことがいくつかありました。そのため、留学中にしたいことをリストアップした際に、優先順位を付けておくべきだと思います。

最後に、留学先として台湾をおすすめします。台湾人は優しい人が多く、1人になるようなことはありません。学生や先生、町の人たちみんな様々なおもてなしをしてくれました。留学を通して、多くの学びと友達を得ることができ、勇気を出して挑戦してよかったと心から思います。



経費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 60,000 円/年
- ・ VISA 申請代金 13,500 円位
- ・ 滞在中の経費(寮に滞在)

滞在費	15,000 円/月	入居申請料	0 円
食費	30,000 円/月	水道光熱費	寮費に込み
通学費	大学隣接のため不要		
携帯電話代金	3,000 円/月	インターネット代金	寮費に込み
授業料	下関市立大学に納付		
履修登録料	不要		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		0 円	

履修

前期	職場英文一、情境会話 1、日語会話 5、日語翻訳 1、導覧日語 1、 日本戯劇一、日管理実務	合計 15 単位
後期		

参加した活動

メッセージ

派遣留学に参加して良かったこと

コミュニケーション能力が上がったことと、国際問題に興味を持つようになったこと。

留学を考えている人へのメッセージ

少しでも留学したいという気持ちがあるならば絶対に挑戦してみることをおすすめします。

派遣留学して不利益だと感じること

修得できる単位が少ないこと。

持って行った方が良いもの

折りたたみ傘、ムヒなどの蚊対策





所 属： 経済学部国際商学科
氏 名： 三奈木 凜
派遣大学： 東義大学校
派遣国／地域： 韓国／釜山広域市
派遣許可期間： 2023年3月～2024年2月
履修期間： 2023年3月～2023年12月

東義大学校(韓国)での留学を終えて

約1年間、東義大学校(韓国・釜山広域市)に留学しました。下関市立大学に入学した理由の1つが韓国の姉妹校が多いことで、高校生の頃から大学生になれば韓国に留学することを決心していました。しかし、大学1、2年生の頃は新型コロナウイルス感染症の流行で外国研修もなくなり、それが韓国留学への想いを一層強くさせました。

韓国での生活が始まり、他大学からの日本人学生と親しくなって感じたことは、他の子たちのレベルが非常に高いことです。これが私の1番の壁でした。元々、韓国語にはあまり自信がなく、人前で韓国語を話すことはとても恥ずかしいと感じていましたが、現地に行けば話さざるを得ません。前期は主に語学堂の授業を受け、インプットよりもアウトプットに力を入れて学習しました。最初は追いつくことに必死でしたが、毎日反復すると自然に言葉が出るようになりました。そして「完璧な文法で話すことができなければ恥ずかしい」から「間違えてもめげずに伝えれば大丈夫」というプラス思考に変えていくことができました。東義大学校の語学堂の先生は我が子のように熱心に私たちに対応してくださり、不安や不便なく過ごすことができました。また、東義大学校はチューター制度があり、お姉さん方と食事やおしゃれなカフェに行ったりして充実した時間を過ごせました。知人がいない中で外国で過ごすことは簡単ではないし、たくさんの不安や心配がありました。お姉さん方のおかげで楽しい留学生活になったと言っても過言ではありません。留学することになった時、日本人とは一緒にいるべきでないと考える人もいますが、同じ境遇の仲間と仲良く、助け合うことは非常に大切だと感じました。留学では、いかに友達をつくり、頼れる人と付き合うかが大事な鍵となるような気がします。留学から帰ってくる人は、基本的にコミュニケーション能力が高く、外交的な人が多いと感じました。私自身も留学を終えて、より明るい性格になったと思います。東義大学校には韓国人だけでなくフランスやミャンマー、台湾など様々な国籍の学生が在籍しているため、各国の文化を教えてもらったり、日本に対するイメージや興味のあることなどを聞いたりしてグローバルな経験をすることもできます。私の周囲の子たちはみんな日本に良いイメージを持っており、日本に生まれてよかったと思う経験もありました。

1年間は本当にあっという間で、想像していた何百倍も楽しくて忘れることのできない経験をしました。すでに釜山に戻りたいと思っているほど、素敵で魅力的な街です。隣の国でありながらも日本にはない活気の良さと、若者のパワフルさには圧倒されました。留学はその国の良さを知ることができると同時に、日本の良さを実感したり、足りない部分を考えさせられたりします。留学で学んだことや経験したことは自分の価値を上げ、考え方の幅を広げさせてくれたと感じています。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 94,900 円/年
- ・ VISA 申請代金 0 円
- ・ 滞在中の経費(キャンパス内寮に滞在)

滞 在 費	約 32,000 円/月	入居申請料	0 円
食 費	寮費に食券含む	水道光熱費	寮費に込み
通 学 費	キャンパス内のため不要		
携帯電話代金	約 4,200 円/月	インターネット代金	寮費に込み
授 業 料	下関市立大学に納付		
履修登録料	不要		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		前期 約 6,000 円、後期 約 10,000 円	

履 修

前 期	語学堂、韓国文化、韓国人の生活文化 100 年、日本語読解練習、韓国で出会う世界 I	合計 9 単位
後 期	国際マーケティング、経営戦略、非合理的消費の心理、消費者行動論、流通物流の基礎、釜山の社会と文化、TOPIK II	合計 18 単位

参加した活動 特になし

メッセージ

派遣留学に参加して良かったこと

周りを気にせず自分のしたいことができること。性格がより明るくなること。様々な国籍の友達ができること。一生の思い出を作ることができること。

留学を考えている人へのメッセージ

不利益よりも良かったと思えることの方が何倍も大きい。不安を感じる方もいるかと思うが、留学が必ず意味のある大切な経験になることは間違いない。

派遣留学して不利益だと感じる事

大学 3 年次に留学の場合は、同学年の子たちより就職活動に関する情報が得にくいこと。

持って行った方が良いもの

変換プラグ





所 属： 経済学部国際商学科
氏 名： 鶴田 二生佳
派 遣 大 学： 木浦大学校
派遣国／地域： 韓国／務安郡
派遣許可期間： 2023年3月～2024年2月
履 修 期 間： 2023年3月～2023年12月

10 か月間の留学体験

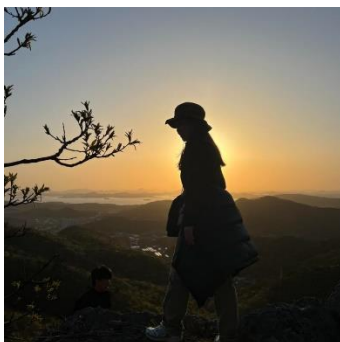
2023年3月から約10か月間韓国の木浦大学校に留学しました。木浦大学校は韓国の最西南端に位置する港町で、海鮮料理が全国的に有名な場所です。木浦大学校では貿易学科に所属し、貿易学概論や電子貿易、金融などを学んできました。韓国で生活していく中で、楽しいこともあれば壁にぶつかることも多々ありましたが、その中で学ぶことがたくさんありました。

幼少期から、父の影響で K-pop に関心があり、中高生時代を好きな K-pop アイドルと共に過ごしてきました。また、何度か韓国旅行に行ったり、韓国人留学生と交流したりするうちに韓国での生活に憧れを抱き留学を考えるようになりました。高校時代には、K-beauty に興味を持ち、化粧品関連のマーケティングについても学びたいと思い留学を視野に入れて、大学に進学しました。できるだけ早く留学したかったため、市大入学後はすぐに、留学生選考に応募し、韓国語能力試験を受験しました。中でも、木浦大学校に留学しようと思った理由は日本人留学生が少なく、より自分の能力を高めることが出来ると感じたからです。

次に留学生活について振り返ります。木浦大学校にはチューター制度がなかったため、外国人登録や口座開設などほとんどを自分たちでやらなければならない環境にあり、到着してすぐ言語の壁にぶつかりました。元々、日本にいるときは、話す練習を全くと言っていいほどしていなかったため、当初は学科の専門授業のみを聞く予定でしたが、自分の能力を考慮して、語学堂の授業も並行して受けることにしました。4月になると、語学堂と大学の専門授業の中間試験があり、大学の試験は精神的にも体力的にも苦しかったです。周りの学生に刺激を受けながら、毎日図書館で朝から夜まで勉強しました。また、このころから友人と積極的に韓国語で話せるようになってきました。教養の授業では、グループ発表があり、私は二つの発表を行いました。韓国で初めてのグループ発表だったので、不安もありましたが、グループのみんなが親切に手助けしてくれて、無事に終わることが出来ました。慣れない言語で大勢の前で発表するのは緊張しましたが、いい経験になりました。二学期に入ると、一学期より多くの授業を受講することにしました。授業は簡単ではなかったですが友達がたくさん力を貸してくれました。

学外の活動では、韓国の大学はイベントが多くあって毎回とても楽しかったです。学園祭では同じ学科の1年生と一緒に出店を回ったり、他の学科の学生とも仲良くなり登山にも行ったりしました。また、体育祭では学科の代表リレーに出ました。とてもプレッシャーを感じましたが、たくさんの方が応援してくれてとても思い出に残る体育祭になりました。他にも、学科のMTや産業視察では普段は入れない企業や工場を見学したり実際に仕事をされている方のお話を聞いたり、とても貴重な経験をさせていただきました。

木浦大学校での10か月は自分にとって語学面ではもちろん、人としても成長できた10か月間でした。特に、留学をしたことで大きな自信ができました。これも、この留学生活を共にした先輩、貿易学科の皆さん、教授の皆さん、友達、両親の手助けがあってこそだと思います。ここでもう一度感謝の気持ちを伝えたいです。そして、これからのことについてですが、まずは韓国語能力試験の6級取得を目標にし、その後はその他の資格取得にも挑戦したいと考えています。また、将来的には韓国で働いてみたいとも思っています。今回の留学で学んだことや、経験を無駄にしないように、絶えず努力をしていきたいです。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 86,580 円/年
- ・ VISA 申請代金 0 円
- ・ 滞在中の経費(キャンパス内寮に滞在)

滞 在 費	約 150,000 円/期	入居申請料	0 円
食 費	寮費に含まれる	水道光熱費	寮費に込み
通 学 費	キャンパス内のため不要		
携帯電話代金	約 4,000 円/月	インターネット代金	寮費に込み
授 業 料	下関市立大学に納付	下関市立大学に納付	
履修登録料	不要		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		前・後期合計 約 5,000 円	

履 修

前 期	貿易実務論、韓日大衆文化の理解 語学堂の韓国語(単位外)	合計 6 単位
後 期	生活の中の心理学、現代社会とスポーツ、国際マーケティング論、 電子貿易、国際金融論	合計 11 単位

参加した活動 特になし

メッセージ

派遣留学に参加して良かったこと

自分に自信がついた。語学力の向上。

派遣留学して不利益だと感じること

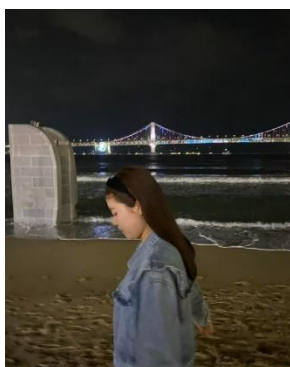
修得できる単位が留学しない学生と比べて少ないこと。

留学を考えている人へのメッセージ

迷っているならぜひ挑戦することをおすすめします。
留学で得られる経験や友人は自分自身にとってかけがえのないものになります。

持って行った方が良いもの

布団類、枕、タオル、洗濯物干し、ドライヤー等
(すべて現地調達も可)





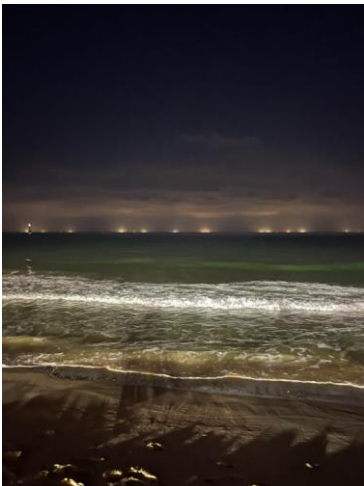
所 属： 経済学部国際商学科
氏 名： 森脇 若菜
派遣大学： 釜山外国語大学校
派遣国／地域： 大韓民国／釜山広域市
派遣許可期間： 2023年3月～2024年2月
履修期間： 2023年3月～2023年12月

韓国留学を終えて

韓国のアーティストを好きになったことをきっかけに韓国語に興味を持ち始め、一度韓国で生活してみたいという漠然とした思いで交換留学に挑戦しました。大好きな韓国語による授業を現地で聞きながら、実際に韓国の文化に触れただけでなく、釜山外国語大学という特色のある学校で韓国以外の国籍の方とも、グループ課題や課外を通して交流し、様々な国の文化を知ることができました。釜山外国語大学では春学期に学祭があり、学校に有名なアーティストが来て公演するなど、韓国ならではのスケールを感じることができました。また様々な国の学生が屋台を運営し、色々な料理を食べることができました。近隣の大学で行われた学祭にも暇さえあれば参加しました。中高で部活と勉強しかしてこなかった私にとって、今まで味わってきた青春とはまた違った青春を味わえました。

授業に関しては、春学期は主に外国人専用科目を受講しました。外国人専用科目は、簡単な韓国語で授業をしますが、課題等もあるため、ある程度の韓国語能力があった方が、無駄に多くの労力を注がなくていいのかなと思いました。秋学期は、春学期と比べてより専門性のある外国人専用科目を受講しました。それに加え、自身の韓国語能力を伸ばすため、外国人専用科目以外の授業もひとつ受講してみました。芸術に関する授業だったのですが、韓国人の中で外国人ひとりという状況で頼れる人も居ない中、一学期間を乗り越えました。1年間継続して取った「タンデム」という授業は、釜山外国語大学ならではの授業で、日本人と韓国人がペアになってお互いの目標言語で会話しながら学んでいくというものです。この授業で韓国人の友達を作ることができました。専攻タンデムは2人組、教養タンデムはグループになり活動するもので、教室でする授業の他に、ペアで課外活動をするという課題があるのですが、その活動で私はPCバン（日本でいうネットカフェ）や遊園地に行ったり、観光ではなかなか行けなさそうな地方に行ったりしました。旅行だけでは経験できないことができ、韓国で韓国人の友達も作ることができるおすすめの授業のひとつです。定期テストは学期ごとに中間試験、期末試験がありました。大学のカフェや24時間開いている図書館で友達と朝まで勉強したこともありました。こんなに勉強したのは大学受験以来で、正直大変でした。

韓国生活にも慣れてきた秋学期、私は日本食を提供する居酒屋でのアルバイトに挑戦しました。店長やお客様との会話を通して自身の韓国語能力を伸ばすことができ、仕事に慣れたころには、新入りの韓国人アルバイト生に日本人である私が韓国語で教育するという、不思議な経験もできました。この経験も含め、最終的に、韓国留学で学んだことを「TOPIK 6級」という結果に残すことができました。留学をして一番達成したい目標を叶えることができ、とても濃く、成長できた1年間でした。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 94,900 円/年
- ・ VISA 申請代金 0 円
- ・ 滞在中の経費(キャンパス内寮に滞在)

滞 在 費	約 430,000 円/年	入居申請料	0 円
食 費	約 20,000 円/月	水道光熱費	寮費に込み
通 学 費	キャンパス内のため不要		
携帯電話代金	約 4,000 円/月	インターネット代金	寮費に込み
授 業 料	下関市立大学に納付		
履修登録料	不要		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		前期：約 17,000 円、後期	約：11,300 円

履 修

前 期	韓国現代文化の理解、日本語韓国語 Tandem 学習 I、韓国と韓国文化、国際マーケティング、韓国社会の理解、多文化社会の理解	合計 17 単位
後 期	日本語韓国語 Tandem 学習 II、韓国の歴史的イベント、国際貿易経済論、FTA 法規と品目分類、貿易商務論 I、タンデムで学ぶ日韓文化 II、芸術作品で見るヨーロッパの文化と歴史	合計 21 単位

参加した活動 アルバイト

メッセージ

派遣留学に参加して良かったこと

普通ではできない経験ができた。

留学を考えている人へのメッセージ

留学したいと思うなら、今です。好きなよう行動できる期間はかなり限られているので、社会に出る前に色々やっておくのが良いと思います。

派遣留学して不利益だと感じること

単位の取得が難しい。
就活の拠点にもよるが就活が難しい。

持って行った方が良いもの

変換プラグ



下関市立大学では中国をはじめとする台湾、韓国、ベトナム、ドイツ、トルコなどの国々からやってきた留学生が下関市立大学で修学しています。彼らと共に学び、サークル活動やイベントに参加することで、国際交流や国際理解、異文化理解が深まります。

外国人留学生には4年間修学する学部留学生、協定校からの交換留学生、下関市の会社が誘致する科目等履修生、大学院で2年間修学する大学院留学生がいます。

外国人留学生のためのサポート

日本語科目

日本語 I	a・b・c・d
日本語実習	c・d・e・f
日本語総合	A・B・C・D
日本事情	A・B
日本文化	A・B

留学生チューター

外国人留学生や特別聴講学生、科目等履修生のために学修や生活の支援を行う留学生チューター制度があります。原則として4月から活動を開始する留学生チューターは2年生以上の学生(大学院2年生を含む)の中から学長が委嘱します。9月から活動を開始する留学生チューターは1年生(大学院生を除く)もなることができます。サポート期間は入学後1年間です。留学生チューターは、学習面だけでなく生活面のサポートも行います。留学生と留学生チューターの交流を深める行事もあります。

留学生面談

1年に1回、学部および大学院留学生の個別面談を実施しています。

この面談では、これまでの学習や健康状態、アルバイトの状況、今後の履修や生活の計画、卒業後の進路相談、そして大学への要望等の聞き取りを行っています。留学生活における問題点をより早く解決し、相談や助言を通して教職員と留学生の交流を深めることができます。

学内行事

下関市内探検・防災体験ツアー (9月)

環境みらい館見学・紙すき体験 (9月)

留学生面談 (4~5月)

日本文化の神髄を知ろう!! (春・秋学期各1回)

日本にいながら世界を知ろう!! (春・秋学期各1回)

地域住民との交流

外国人留学生は、様々な形で市民との交流を図り、今や「小さな国際都市・下関」にとって、なくてはならない存在です。外国人留学生の活動は、交流学習への派遣、地域の各種イベント等への参加、ボランティア活動への参加などがあります。

01. 交流学習への留学生の派遣

国際理解教育に取り組んでいる地域の小・中・高等学校の児童や生徒と触れ合うことにより、留学生の文化や生活習慣などの紹介をしています。また、要請があれば国際交流や国際理解に関心のあるこども園等への派遣にも対応しています。

- ・名陵校区地域こども教室(偶数月)
- ・社会福祉法人三明会豊北きらきらこども園（毎月）

02. イベント・ボランティア等への参加

外国人留学生は地域での各種イベントに積極的に参加しています。2023年度のイベントは以下のとおりです。

- ・花見例会(4月)-下関中央ロータリークラブ-
 - ・酒蔵祭り(4月・10月)-下関酒造-
 - ・先帝祭（5月）
 - ・下関市内在住留学生交流会(5月)-下関ロータリークラブ-
 - ・朝鮮通信使行列参加・通訳ボランティア(8月)-下関市-
 - ・国際親善パーティー(12月)-下関市ユネスコ協会主催-
- その他にもたくさんのイベントに参加しています。

留学体験レポート

協定校  下関市立大学



氏名 周爽

所属大学 青島大学（中国）

留学期間 2023年9月～2024年2月

留学中頑張ったことは？

日本語専攻ですが、すべての授業を日本語でするのは初めてです。それで留学中に私は日本語の授業に適応しようと努力しました。

留学してよかったことは？

私は新しい友達をたくさん作れたのが一番良かったと思います。日本人だけでなく、いろんな国の人たちと一緒に授業を受けて、遊ぶことができてとても楽しかったです。

留学中大変だったことは？

市役所や銀行で重要な手続きをするので、スタッフの方が日本語で説明してくれるのですが、よく分からないので心配になりました。特に電話をする時は周りに助けてくれる人がいないととっても緊張しました。

留学中の友人関係はどうだった？

私は留学中にとても気の合う友達に出会いました。他の交換留学生もとても優しく親切で、みんなで何度も交流活動に参加したり、旅行に行ったりして、こんなにたくさんの友人がいて、私の留学生活はとても楽しかったです。

留学中経験した方がいいことは？

日本に来て、先生の日本の紹介と自分を通じて日本の文化を感じました。これは教科書では学べません。わずか半年間の留学生活の中で、日本の有名な旅行先にもたくさん行って、おいしい食べ物をたくさん味わっただけでなく、文化もたくさん体験しました。皆さんも日本にいる間、いろんな地域に遊びに行ったり、いろんな経験を試してみるのがいいと思います。

留学中履修した科目は？

日本事情 B、日本語総合 c、日本文化 B、日本語 Ic、日本語 Id、日本語実習 e、日本語総合 D

下関市立大学の学生に一言！

下関市立大学は本当にいい学校で、皆さんも大学生活を大切にしてください。皆さん、時間があればぜひ中国に遊びに来てください。

半年では短すぎて、日本の生活にも慣れてきたところで、留学生活ももうすぐ終わります。しかし、この半年間でたくさんのことを経験し、大切な思い出を残しました。

最初は新しい環境に適応できるかとても不安でしたし、手続きも全て日本語で行わなければいけないので戸惑いました。幸いなことに、国際交流センターの先生方とユナ先生はとても信頼できる方で、生活面でも学習面でも大変お世話になり、困ったときはいつも全力でサポートしていただき、とても感謝しています。

下関市立大学で受けた授業はどれも印象に残りました。先生方はとても優しく説得力がありました。最初は知識も少なく授業で話すのが怖かったですが、最後にはしっかりと自分の考えを自由に表現することができました。先生方の丁寧な指導のおかげで、ここまで上達することができました。

同時に、暇を見つけては日本の多くの名所を訪れ、日本の美しい自然や文化的景観に驚嘆するとともに、日本各地の風習や文化習慣も感じ取りました。日本語を練習しただけでなく、日本についてもっと学びました。

全体として、この6か月はとても楽しい時間を過ごしました。経験したことはすべて、今後の学習と生活の良い基盤となるでしょう。半年間お世話になった下関市立大学の先生方、学生の皆様に心より感謝申し上げます。





氏名 陳旺

所属大学 青島大学（中国）

留学期間 2023年9月～2024年2月

留学中頑張ったことは？

地元の人とのコミュニケーション

留学してよかったことは？

言語力の向上

留学中大変だったことは？

文化への適応

留学中の友人関係はどうだった？

友人関係は非常に豊かで充実したもの

留学中経験した方がいいことは？

旅行すること

留学中履修した科目は？

日本事情 B、日本語総合 c、日本文化 B、日本語 Ic、日本語 Id、日本語実習 e、日本語総合 D

下関市立大学の学生に一言！

どんな困難にも前向きに立ち向かい、新たな可能性を広げよう！

私は交換留学生として、下関で数か月を過ごしました。下関は山口県に位置し、美しい海岸線や歴史的な観光地で知られています。このエリアでの留学は、文化の違いや新しい経験を得る絶好の機会でした。

学業と言語

下関市立大学では、日本の文化や時事問題に関する授業を受講しました。最初は日本語に苦労しましたが、クラスメートや先生のサポートのおかげで徐々に上達しました。学外での日本語の実践も勉強になり、地元の人々との交流を通じて多くのことを学びました。

文化体験

下関は海の幸が豊富で、特にフグ料理が有名です。地元のレストランでフグを味わったり、唐戸市場で新鮮な魚介類を見たりすることができました。また、多文化カフェというイベントや高校生との交流会にも参加し、日本の文化を深く理解することができました。

自然と歴史の融合

下関の自然環境は驚くべきものでした。美しい海や山があり、四季折々の風景が楽しめました。歴史的な建造物や神社仏閣も多く、歩いて探索することができるエリアが広がっています。学内のイベントでは古地図を持って長府を散策し、自然景色を楽しみながら、下関市の歴史を学んだこともあります。

留学を通じての成長

下関での経験は私にとって大きな成長の機会でした。新しい文化に順応し、異なる価値観を理解することで、柔軟性が養われました。また、言語の壁を克服することで、コミュニケーション能力が向上しました。

まとめ

下関での留学は私にとって素晴らしい冒険でした。美しい自然、歴史的な背景、親しみやすい地元の人々、そして新しい言語と文化に触れることで、私の留学体験は一生の思い出となりました。





氏名 丁若璋

所属大学 青島大学（中国）

留学期間 2023年9月～2024年2月

留学中頑張ったことは？

留学中、一番頑張ったのは授業中の発表です。発表がたくさんありました。ことばについての、昔話についての、河豚文化についての、グループ発表などいろいろありました。私のできる最善を尽くしました。何日も前から準備をして、できるだけスッキリと説明できるようにしていました。それぞれのスライドには、厳選された写真と、いろいろなルートで調べた資料が使われていました。クラスメイトとのグループ発表では、アンケートを作ったり、データをまとめたり、ポスターを描いたり、みんなで頑張っていました。私も発表を重ねる中で多くのことを学びました。自分の日本語能力が向上したと感じていました。

留学してよかったことは？

たくさんの交流イベントに参加しました。多文化カフェ、高校生との英語交流会、幼稚園との交流などです。チューターさんを家に招いて私の作った中国料理を食べました。いい友達になりました。二十一歳の誕生日をみんなと過ごしました。皆さんに祝福していただいて、とても幸せです。いろいろなあたらしいことを体験しましたが、国際的な視野が広がったと感じています。また、学校の授業を大切にしているので宿題や発表はきちんとやり、休みを取ることなく皆勤しています。一人暮らしをすることもタイムマネジメント能力も身につきました。自立力は格段に上がりました。

留学中大変だったことは？

最初に来たときは骨折して歩けなかったんです。とても不便でした。ずっと家の中を飛び回っていたので、近所の人に迷惑がかかるのではないかと心配しました。上り坂も下り坂も大変でした。でも、たくさんの友達や先生に助けられて、その時間を乗り越えることができました。私にとっても特別な忘れられない経験になりました。

この交換留学はとても貴重な機会でした。日本に来て、本当の日本の生活と授業の雰囲気を経験しました。その過程で、もちろんいろいろな困難や苦手な点もありました。特に日本に来る直前に骨折した私にとっては、本当に大きな挑戦でした。しかし、幸運なことの一つ一つ乗り越えてきました。ここでたくさんの交流活動に参加し、たくさんの友達と知り合うことができました。中国の大学とは全く違う体験をしました。授業もとても面白く、中国とは学び方が全然違います。先生が用意してくれた様々な内容が私の日本語能力を高めてくれたことに感謝しています。

また、友達と一緒に旅行するのは初めてでした。私達は北海道に行って、一緒にスキーをして、一緒にトランプをして、この初めての体験は私には忘れられません。しかし、残念なこともあります。今回の交換留学期間は本当に短かったです。この生活に慣れてきたら、そろそろ帰国するという感じです。

今後もまたこのような機会をみつけて、日本のことをもっと理解したいと思います。



留学中の友人関係はどうだった？

まず、たくさんの国で新しい友達ができました。日本、韓国、ドイツなどです。彼らを通じて彼らの国について多くの新しい理解を得ました。また、一緒に交換留学に来ていた青島大学の友達とも親しくなりました。国内にいる時、私達は2つのクラスに分かれて、普段の連絡は多くありません。しかし、今回の留学を通じて、私たちはお互いを理解し、助け合い、進歩していきました。

留学中経験した方がいいことは？

いいことがたくさんありました。最初に骨折した時、友達、チューターや先生に助けってもらって、猪又先生が家に来て学校まで手伝ってくれたり、日田先生が印鑑を買ってくれたりなどは、とても温かく感じました。また、友だちと北海道に旅行に行ったり、一緒にスキーをしたり、いろいろおいしいものを食べたり、高校時代の友だちに会いに東京に行ったりしました。帰国前も京都、奈良と大阪に行きました。とても楽しかったです。私も友達との会食が多く、新しい友達がたくさんできました。いいことが多すぎたような気がします。この半年本当にしあわせでした。

留学中履修した科目は？

月曜日：日本事情 B 日本語総合 C

水曜日：日本文化 B 日本語 I c 日本語 I d

火曜日：日本語実習 e 日本語総合 D

下関市立大学の学生に一言！

私は日本で生活して、たくさんの新しい体験ができましたが、だから、もし機会があれば、皆さんも中国に来て中国の生活を体験してくださいね。



氏 名 李 光 照
 所属大学 青島大学（中国）
 留学期間 2023年9月～2024年2月

留学中頑張ったことは？

日本語の勉強です。

留学してよかったことは？

多くの日本人と交流できたことです。

留学中大変だったことは？

自分で料理を作ることです。

留学中の友人関係はどうだった？

多くの外国人留学生と交流できました。

留学中経験した方がいいことは？

多くの日本人と交流することです。

留学中履修した科目は？

日本事情 B、日本語総合 c、日本文化 B、日本語 Ic、
日本語 Id、日本語実習 e、日本語総合 D

下関市立大学の学生に一言！

より良い未来へ、一緒に努力しよう！

半年の留学生活が終わりました。時間は本当に光陰矢の如しですね。この半年の生活を振り返って、中国での生活よりものんびりした生活かなと思いました（笑）

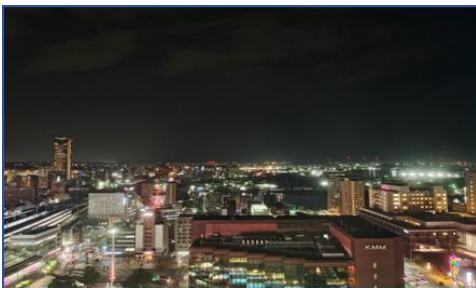
最初、留学準備をしている時に、手続きが多くて大変でしたが、それでもやはり留学生活を楽しみにしていました。日本に来る飛行機に乗っていた時は、楽しみか、不安か、様々な気持ちが交錯していました。

下関に到着した後、チューターさんと出会い、一緒に唐戸市場近くを観光しました。海辺の町なので、風が強かったです。日差しも強いので、皆さんがもし下関市に来るときは、帽子を買ったほうがいいかもしれません。

旅行とかはあまりしなかったので、別の話題にしましょう（笑）

自分が一番重視していたのは、日本語の勉強です。暇があったら、学内の図書館に行きました。選んだ授業は全て日本語の授業でした。青島大学の授業内容と少し違いがあります。日本の大学の授業は表現力とチームワークを重視していると思いました。宿題は少ないですが、自分自身で思考力を鍛えるものだと感じました。N1は合格しましたが、日本語勉強の道はまだまだ始まりです！

国際交流センターの先生とチューターは優しいです。まだ何かチャンスがあったら、ぜひもう一度下関市立大学に行きたいです。





氏名 鄭 載憲

所属大学 東義大学校 (韓国)

留学期間 2022年9月～2023年8月

留学中頑張ったことは？

人生初の留学だったのでいろいろと気を使いましたが、留学中は友達を作ることに専念しました。外国人の友達にインターネット上で会うのは簡単なことですが、実際に会う機会はあまりないので、せっかくの留学は外国人の友達を作る機会にしようと思いました。

留学してよかったことは？

日本で生活すること自体がありふれた機会ではないので、一応生活そのものもいい経験だったと思います。日本で生活して、日本で学校に通って、日本でアルバイトをすること、そんな経験を持つ学生は韓国の日本語学科の学生の中でもそれほど多くないと思います。

留学中にたくさんの友達を作ったとは言えませんが、本当に素晴らしい友達ができたとと言えます。日本語の勉強を手伝って、日本文化について教えてくれる日本人の友達は私の留学においてかけがえのない大切な宝物です。友達ではなくても、ここ下関ですごい人にたくさん会いました。私より日本語が上手な留学生に会って私がまだ足りないということを感じ、サークル活動で素敵に活躍する学生たちを見ながら世の中にはすごい人が多いと思いました。

留学中大変だったことは？

友達が多いか少ないかは別として、一人でいなければならない状況が多かったです。友達がいるとしても毎日のように会えるわけでもなく、友達と家族は違うからです。韓国では家に着くと歓迎してくれる家族がいましたが、一人で生活するようになると寂しい感じがありました。これに対して私は夕方には友達と約束を取って連絡をしたり、昼間は運動をするというふうに耐えていました。

留学中の友人関係はどうだった？

人間関係は広がるほどあれこれ気を使わなければならないことが多くなるので広い人間関係は望んでいません。ですから、日本でもそんなにたくさんの友達ができるとは言い難いと思います。しかし、私は自分の人間関係に満足しています。たとえ多くの友達ができるとは言えませんが、本当に良い友達を作ることができ、その友達と多くの経験をしました。

留学中経験した方がいいことは？

校内活動ではサークルに参加してみることをお勧めします。私は日本文化に関心が高かったので弓道部、茶道部に入学することで日本文化に対してある程度分かるようになりました。そしてそこには志を同じくする友達も多かったため、友達を作るのも簡単だったと思います。学外活動ではアルバイトをしてみることをお勧めします。

留学中にアルバイトをするのが時間の無駄だと言う人もいましたが、私にとってアルバイトは日本での就職に対する間接的な経験になったと思います。現場で働いている日本人の職員たちを見ながら日本で仕事をするということがどんなことなのか分かるようになり、現場で使用する専門用語も把握できました。

留学中履修した科目は？

日本語、異文化交流、教養総合、国際関係論、キャリアデザイン

下関市立大学の学生に一言！

下関に来て聞いた言葉の一つが「下関は田舎だから何も無いよ」という言葉でした。もちろん東京や大阪のような大都市に比べると田舎と言えますが、私にとってそんなことは重要ではありません。下関で素敵な人たちに会えたり、素晴らしい思い出を作ることができました。下関は私にとって日本のどの都市よりも重要な意味を持つようになりました。これは全部皆さんのおかげです。下関から近い釜山から来た私としては本当にありがたく思っています。

今回の留学を通じて様々なことを体験してみました。日常的な部分では日本人の友達との交流と授業に参加すること、ひいては日本でのアルバイト、神社参拝と祭りの参加など面白くて大切な経験が多かったです。

一つ一つが全て大切な経験ですが、あえて挙げるなら、日本人の友達の家に泊まったこと、祭りに参加したこと、アルバイトをしながら就職について考えてみたことは、いくら時間が経っても忘れられない思い出になりそうです。韓国ではなかなか経験できないことだからね。留学に行っていなかったら、このような経験と思い出が作れなかつたらうし、私は本当に自分の人生の多くを失ったはずで。そんな機会を逃さなかつた私は、どうも恵まれた人でしょう。

最後に、経験以外に留学をしながら感じたのは1年という時間は本当に短いということです。1年の間に本当に多くのことを経験したと言えますが、それでもやりたいことがまだまだたくさんあります。それは残念ですが、一方ではこれによって日本にまた行かなければならない理由が生じたとも言えると思います。





氏 名 河 世 娟

所属大学 東義大学校（韓国）

留学期間 2022年9月～2023年8月

留学中頑張ったことは？

日本の生活うまく適応すること
最初来た時新しい環境でちょっと緊張したので日本に慣れるために頑張りました。

留学してよかったことは？

たくさん旅行に行ったこと
色んな所に行ってたくさんの思い出を作って良かったと思います。

留学中大変だったことは？

病気になったこと

留学中の友人関係はどうだった？

たくさん友達を作った

留学中経験した方がいいことは？

旅行とか日本の文化体験

留学中履修した科目は？

日本語の科目以外コンピューターの授業、スポーツの授業、文化の授業も聞きました。

下関市立大学の学生に一言！

今までありがとうございました。

日本に留学にきて、最初は、緊張でストレス感じることもありましたが、サークルに入って色んな人と付き合うことで、緊張するのもなくなくなりました。私はサークルで弓道部に入りました。そこで友達も作って、日本の弓道もやってみて楽しい経験でした。日本にきて初めてアルバイトもして、新しい経験をたくさんしました。友達と福岡や京都、東京に行ったのもいい経験でした。

そして日本で勉強しながら、私の日本語の能力が高くなっているのを感じました。一人で暮らしてみるのも大変だったんですが、この経験もいつか人生で役に立つ経験だと思います。

留学にきて、普段は会うことが難しい色んな国の人に会いました。もちろん文化的違いで葛藤もありましたが、それぞれの国の文化に接することができて大事な時間でした。

韓国では出来ない経験がいっぱいできました。下関で過ごしながらか経験したことが、人生で起こる問題を乗り越える鍵になると思います。そして今まで生活のサポートをしてくれた先生やチューターに感謝しています。私が経験したような、新しい経験をした人にはぜひ留学をおすすめしたいです。





氏名 金 愨成

所属大学 木浦大学校（韓国）

留学期間 2023年4月～2024年2月

留学中頑張ったことは？

日本人と友達になること

留学してよかったことは？

日本の生活についてわかった

留学中大変だったことは？

税金、光熱費が高い

留学中の友人関係はどうだった？

卓球部に入りみんなと一緒に遊びに行った

留学中経験した方がいいことは？

現地の方々と会話ができてすごくよかった

留学中履修した科目は？

日本語を中心に勉強した

下関市立大学の学生に一言！

短い間でしたが、お世話になりました

日本留学を決めた理由

私が日本の交換留学生に志願することを決心したのは、軍隊で服役していたときでした。軍生活をしながら私は多くの人々と話し、生きてきた経験をお互いに分かち合ったりしました。その中で私は海外に住んだことがある人たちの話が一番好きでした。海外で会う縁、そこだけの景色の話はいつも私の胸を躍らせ、その生活を夢見たりしました。その頃には軍生活が終わったら海外に旅行に行くと言いました。軍生活が終わって大学に復学をした時、私は大学で関心があった日本についての授業を複数専攻することにしました。海外に出たいと思い、日本語を勉強しているときに交換留学生募集のお知らせを見つけ、私は「これだ！」と頭の中で叫びました。その後は日本留学のためにいろんな準備とどの大学に行くか悩みました。いろいろ悩みましたが、近くて経営特化の大学である下関市立大学への留学を決めました。

日本の生活とチューター

2023年3月、私は夢に描いた日本留学と日本での生活が始まりました。日本には旅行で何回か行ったことはありましたが、海外で1年間暮らすのは初めてだったので、とても緊張して心配していました。しかし国際交流センターの方々とチューターである大学の友達の助けで転入届やアパートの契約、口座開設など、生活に必要な手続きをすることができました。日本の生活で不便があったり何か質問をしたいことがあった時、チューターと国際交流センターの方々がいつも助けてくれました。特にチューターは下関旅行を一緒にしてくれたり、たまに夕飯を一緒に食べてくれたりして、他国での生活があまり寂しいと感じなかったと思います。私は大学に戻ったら日本で受けたこのような関心と助けを私の大学を訪ねてくる外国人学生たちにも返せる人になることを誓いました。

授業

私は韓国の大学では静かで発表などはあまりしないタイプの人でした。でも、下関の大学で受けた授業では発表する授業が多かったです。発表のために準備をするとき、日本語で発表するから日本語がぎこちないのではないかと悩みましたが、自然な発音を練習する機会になりました。また、他の学生たちの前で発表をすることになって自信を得ることもできました。留学中は講義のおかげで日本語能力だけでなく発表、自信も得ることができてとても有益でした。

イベント

せっかく日本に来たので、私は学校で実施するイベントや行事にできるだけたくさん参加しようと思いました。幸いなことに、学期中には非常に多くのイベントが実施され、それに参加することができました。馬関祭り、洞窟体験、多文化カフェなど、今振り返ってみるとすべて記憶に残るイベントばかりでした。この中で一番記憶に残るイベントは、韓国からやってきた公演チームのアシスタント、通訳のアルバイトです。市民会館で行った公演と、唐戸市場方面を行進するパレードを見ながら、過去の朝鮮通信使のように韓国を広く知ってもらう意味深い行事で彼らを補佐する役割をすることで、私も彼らと一緒にいるという気持ちになり、とても浮かれていました。数日だけですが新しい縁と出会い、彼らに下関の名所や観光地を紹介することで達成感のような、なんとなく胸がいっぱいになりました。

交換学生の感想

特別な経験をしたイベントや、旅行がこの1年間でとても多かったです。また、授業を通じて自信と社交性を得て、見聞を広げたようです。日本での経験は私が思っていた人生観に多くの影響を与えました。これまで描いていた未来は、ただ単に貿易会社に入りたいと漠然と思っただけでした。しかし、今回の経験を通じて日本との関係を結ぶ存在にはなれないか、貿易を通じてそれを成し遂げられるか、それとも他の何かがあるかを探る自分を見ることができました。今は漠然と考えるより目標を決めてそれを成し遂げるために熱心に考えて行動する自分になりました。留学する前よりも精神的に成長したと感じます。もう私は韓国に帰りますが、ここで学んだことを最大限に活用すれば、どこでもうまく適応し、行動できるという自信を得ました。韓国に戻って大変なことに直面したり、うまくいかなくても、ここでのことを思い出してうまくやっていけるでしょう。





氏 名 鄭 琮 浩

所属大学 釜山外国語大学校（韓国）

留学期間 2023年4月～2024年2月

留学中頑張ったことは？

日本で初めてアルバイトをしたこと、資格取得のための勉強、陸上競技部のサークル活動

留学してよかったことは？

日本語の会話能力も上がって、また、祭りや色んなプログラムに参加することでもっと日本の文化を楽しむことができました。

留学中大変だったことは？

初めての日本の生活での手続きや支払いなどと、接客のアルバイトが大変でした。

留学中の友人関係はどうだった？

日本の友達や他国の友達ともたくさん付き合いしました。

留学中経験した方がいいことは？

アルバイトと下関の馬関祭りは参加した方がいいと思います。

留学中履修した科目は？

日本事情、日本語総合、日本語A・B、スポーツ実践、地域産業論、日本文化、コンピュータ基礎

下関市立大学の学生に一言！

とにかく何らかのイベントやアルバイトをする機会がありましたら是非とも参加してください！生涯で1年という留学生活ですから悔いが残らないように！

長く感じながらも短かった留学生活でした。初めての一人暮らしでもあったし、それも日本での暮らしでしたから、さらに心配していました。しかし、国際交流センターやサポートをしてくれた皆さんのおかげで、無事に留学生活を終えることができました。

将来、日本に就職する前の予行練習にもなりましたし、韓国とは違う日本の大学生としての体験をすることができたのも、二度と経験することができない思い出になりました。少し心残りがあるのは、国際交流センターからの色んなイベントに全部参加できなかったことです。日本では一人暮らしでしたから、できるだけ両親にはお金の負担をかけたくなかったで、時々厳しい生活もしましたが、代わりにお金の大切さと生活するためのお金の使い方を知ることができました。そのため、国際交流のイベントにあまり参加できなかったのが残念でした。しかし、日本人の友達も作れたし他の国から来た留学生とも色んな交流もでき日本語で他国の留学生と話が通じたのが驚きながらも嬉しかったです。

母国に戻ってもこの経験を糧にして頑張りたいと思います。それとまた次に留学する学生たちにも下関市立大学や交換留学生のプログラムをおすすめしたいです。





氏 名 韓 世 珍

所属大学 釜山外国語大学校（韓国）

留学期間 2023年4月～2024年2月

留学中頑張ったことは？

交友関係を築き維持すること

留学してよかったことは？

日本の生活を知ることができたこと

留学中大変だったことは？

大学生活に馴染むこと

留学中の友人関係はどうだった？

春学期は馴染めず、苦労したが、秋学期には良好だった

留学中経験した方がいいことは？

発表がある授業を履修すること。日本語の実力もアップできるし自信も身につけることができる。

留学中履修した科目は？

経済数学、日本事情 A、日本語 I A、経済学入門、経済政策 I、金融論 I、ミクロ経済学 II、経済統計 I、マクロ経済学 II、日本事情 B、社会学、金融論 II、日本語 I c、日本語 I d、経営史、日本語実習 f、日本語実習 e、日本語総合 D

下関市立大学の学生に一言！

WSKの皆さん、半年間ありがとうございました。

長く感じた留學生活が終わりに近づくにつれて1年という期間があっという間に感じられました。私が日本に交換留学しようと思ったきっかけは日本での生活が自分に合うのかが気になったことと、留学のついでに経済学を学ぶことで関心分野を作ろうと思ったことです。そのため春学期には経済学の授業を主に履修登録しましたが、私は内向的な性格なためこれが留學生活に馴染めない原因となりました。春学期の時間を無駄にしたことが後悔として残っています。このような経験を踏まえて秋学期には日本語の授業を取ったり、国際交流センターが行うイベントに積極的に参加したりすることで交友関係を築くことに集中しました。そのおかげで留学生や日本人の学生と仲良く過ごすことができ、日本語の使用率も上がってコミュニケーションに自信を持つことができました。交友関係を築いた後の留學生活はとても楽しかったです。留学生たちと色々なところで遊びに行ったり、日本人の学生さんたちとタコパをしたことや誕生日パーティーを祝ってもらったりと色々な経験をすることができました。

春学期の時間を無駄にした分、秋学期には積極的に留學生活を送ったことが日本語のレベルアップ、交友関係、自分の性格のちょっとした変化などに繋がり、こうした経験が有意義な留學生活だったなと思わせてくれました。日本へ留学できて良かったです。ありがとうございました。





氏 名 フリドリヒ カーステン マーク
所属大学 ルートヴィヒスハーフェン経済大学（ドイツ）
留学期間 2022年9月～2023年8月

留学中頑張ったことは？

留学中に頑張ったことは日本語を話せるようになることです。

留学してよかったことは？

人と出会えたことと旅行できたことと日本での生活に慣れたことです。

留学中大変だったことは？

最初の頃は日本語をあまり話せなかったし、友達もできなかったし、そして授業の内容も分からなかったし、大変でした。

留学中の友人関係はどうだった？

最初、誤解も多かったしそんなに話せなかったし難しかったけど、どんどん良くなりました。今はとてもいい関係です。

留学中経験した方がいいことは？

留学中にできるなら、旅行したほうがいいと思います。

留学中履修した科目は？

ほとんど日本語の授業とスポーツとコンピューター実習を履修しました。

下関市立大学の学生に一言！

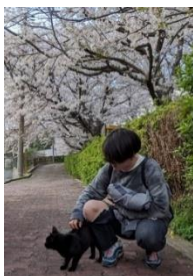
皆さん優しくしてくれてありがとうございます！留学をしてくれました。

僕は日本に来た最初の頃、日本語能力はちょっと低かったです。自己紹介ぐらいができました。その頃に市役所や他の書類を記入する時、留学生チューターが手伝ってくれてありがたかったです。日本に来て一か月後に授業が始まって、英語での授業が一つもなかったのが、最初は結構難しかったです。でも毎日一日中日本語を話して、読んで、そうして書いて、期末試験まで授業の内容を理解できるようになりました。

連休は京都や広島を旅行しました。いい経験ができて、今でも思い出します。特に、京都でドイツの大学の友達が留学していたから、楽しめました。11月からサークルにも入りました。WSKというサークルで、日本人と留学生もいて、日本人と出会う機会でした。冬休みに東京にも行きましたが、その大きさに驚きました。お正月は渋谷で過ごしました。1月の期末試験も難しかったけど、全部合格できました。春休みには家族と一緒に東京から鹿児島まで三週間旅行しました。その後は韓国も旅行に行きました。春学期には日本の生活にも慣れました。日本語能力試験も受けたし、よく勉強しました。

最後に、この一年間の留学で学んだことがたくさんありますし、友達もできましたし、日本に留学に来てよかったです。





氏 名 マツソー モモ ソフィー

所属大学 ルートヴィヒスハーフェン経済大学（ドイツ）

留学期間 2022年9月～2023年8月

留学中頑張ったことは？

下関に来る前から、私は少し日本語を話せたのですが、話すときは言葉が思い付かなかったり、知らなかったりして、困ったところが多かったです。したがって、私の頑張ったことは自分の考えや意見を表現することです。

留学してよかったことは？

私にとって良かったことは色々な人と話せたことです。

留学中大変だったことは？

留学の最初と最後のほう、市役所などで色々な手続きや契約・解約があります。もちろん周りに手伝ってくれる人がいるのですが、疲れます。その他は日本の蒸し暑さ。

留学中の友人関係はどうだった？

最初はだれも知らなくても、サークルに入ったり、色々な人と話したりしたら友だちを作ることができます。

留学中経験した方がいいことは？

留学中経験した方がいいことは、唐戸市場で寿司を食べることです。そしてできるだけ色々な所に行って、思い出を作ってください。

留学中履修した科目は？

多めに履修した科目は日本語の授業でした。その他に受けた授業はコンピューター活用やスポーツ実践でした。

下関市立大学の学生に一言！

留学生として、最初の方は言語的な不安があるかもしれないのでぜひ声かけてみてください。

日本での一人暮らしは、最も困難な経験の一つでしたが、同時に充実した経験でもありました。私は幸運にも多くの新しい友人を作ることができ、彼らは日常生活に溶け込むことや、学校や社会環境での自分のやり方を見つけることなど、色々なことで私を手伝ってくれました。また、携帯電話の契約やその他のことも手伝ってくれました。

留学中、日本語を上達させることができたので、文化や人々とより深くつながることができました。さまざまなクラスで日本の文化や歴史について学ぶ機会がありました。また、日本語能力試験の対策クラスにも参加しました。

滞在中、国内外を旅行しました。北海道の家族を訪ねたり、福島、鳥取、東京、大阪を旅行したりしました。韓国からの友だちのおかげで、韓国を訪れる機会にも恵まれました。

日本滞在中は、折り紙を習ったり、雪祭やお花見などの伝統的なお祭りを体験したりしました。日本の文化はとても豊かで魅力的で、日本がもっと好きになりました。

世界のすばらしさを発見し、自分を再発見するために、このような経験をすることをみんなに勧めたいです。



INPaCS

Intercultural Nexus Program at Campus of SCU

01 交流プログラム

- 中国語で交流して友達になろう！
- 韓国語で遊ぼう！知ろう！さあ、行こう！
- 多文化カフェ

02 異文化理解プログラム

- 日本にいながら世界を知ろう！！
- 日本文化の神髄を知ろう！！
- 留学体験発表会
- グローバルキャリアへの道

中国語で交流して友達になろう！

今まで習った中国語、独学で学んだ中国語の実践練習の場として、中国人留学生在がファシリテーターを務める中国語で中国や台湾を知る会です。中国・台湾に旅行や留学を考えている学生の皆さんのために定期的に開催しました。

韓国語で遊ぼう！知ろう！さあ、行こう！

今まで習った韓国語、独学で学んだ韓国語の実践練習の場として、韓国人留学生在がファシリテーターを務める韓国語で韓国語と韓国を知る会です。韓国に旅行や留学を考えている学生の皆さんのために定期的に開催しました。本学の協定校とオンラインでの交流会もしました。

多文化カフェ

留学生在がファシリテーターを務める多文化交流イベントです。ゲームをしたり、共通のテーマで話したり、様々な国の留學生と会話し交流する会です。ドイツ、中国、韓国、ベトナムの留學生と交流する会を定期的に開催しました。

日本にいながら世界を知ろう!!

下関市立大学の学生や地域のみなさんに、世界中で起こっていることや暮らしの様子、歴史的な事柄などを知ってもらうことを目的に様々な国の方や、その国で暮らしたことがある方々にお話をしていただく企画です。

〈第1回〉世界を見ていたら日本について!

下関出身のフォトグラファー、現在アイルランドそしてヨーロッパで活躍中の藤田需子さんにアイルランドにたどり着いた経緯やソーシャルエンゲージドアートの活動などについてお話をしていただきました。

〈第2回〉ドイツから来た僕たち・日本とドイツの教育の違い

交換留学生として来日している2人の留学生が、ドイツや彼らの大学であるルートヴィヒスハーフェン経済大学の紹介、日本とドイツの教育の違いなどについてお話しをしていただきました。

〈第3回〉ハワイ・カウアイ島で遊び・学び・研究し・暮すということ

ハワイ大学のカウアイコミュニティカレッジでご活躍中の池田恭子先生に1、第1部ではハワイの行事や気候、カウアイコミュニティカレッジのことなどについてお話をいただき、第2部ではハワイの英語、ピジンイングリッシュを使ったクイズなどで交流しました。

日本文化の神髄を知ろう!!

留学生を含む本学の学生全員に日本文化への興味を喚起し、理解してもらうことを目的に実施しています。

〈第1回〉バスツアー1Day Trip ～山口の文化と自然を巡る旅～

70年に一度の大改修を行っている五重塔がある瑠璃光寺があるや香山公園をボランティアガイドさんの説明を受けながら見学し、秋吉台・秋芳洞そして赤塗りの鳥居の元乃隅神社(旧元乃隅稻成神社)を参拝し、自然と文化の融合体験をしました。

〈第2回〉古地図を持って長府散歩

長府地区の古地図をもって、ボランティアガイドさんに説明を受けながら、串崎城跡、三軒茶屋、豊功神社、敬業館、壇貝川、下関市歴史博物館、功山寺、長府毛利邸、古江小路、三吉慎蔵旧宅後を散策しました。

留学体験発表会

留学体験者から話を聞くことで、留学経験について考えてもらうことを目的に実施しています。

春学期に3回、秋学期に4回、派遣留学を終え帰国した学生に体験発表をしていただきました。

春学期は、釜山外国語大学(韓国)とグリフィス大学(オーストラリア)に留学した学生、秋学期にはアルゴマ大学(カナダ)、ボアジチ大学(トルコ)、ルートヴィヒスハーフェン経済大学(ドイツ)、そしてグリフィス大学附属英語学校(オーストラリア)に留学した学生に発表してもらいました。

グローバルキャリアへの道

在学中のみなさんに、国際感覚や就職活動について具体的に考える機会を提供することを目的に実施しています。

アメリカや韓国に留学し、国際インターンシップやPBLに参加し、現在は社会人として活躍されている先輩3名に、在学中に国際体験を通して学んだこと、社会でその経験がどのように役に立っているか、そして社会人として後輩へ伝えたいことについて講演して頂きました。

»» 2023 年度報告

在籍留学生数

(5月1日現在)

203年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講		科目等履修		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中国	3	2	1	1	2		2	2	1	1		1					16
台湾																	0
韓国			3	1			9	4					4	1			22
ベトナム			3		1	1											5
マレーシア																	0
パキスタン																	0
ドイツ													1	1			2
タイ																	0
トルコ																	0
小計	3	2	7	2	3	1	11	6	1	1	0	1	5	2	0	0	45人
合計	5人		9人		4人		17人		2人		1人		7人		0人		
					学部生合計		35人		大学院生合計		3人		非正規生合計		7人		

2022年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講		科目等履修		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中国	1	1	2		1	2	9	1		1		2					20
台湾																	0
韓国	3	1			5	4	4						2	2			21
ベトナム	3		1	1			3										8
マレーシア																	0
パキスタン																	0
ドイツ																	0
タイ																	0
トルコ																	0
小計	7	2	3	1	6	6	16	1	0	1	0	2	2	2	0	0	49人
合計	9人		4人		12人		17人		1人		2人		4人		0人		
					学部生合計		42人		大学院生合計		3人		非正規生合計		4人		

2021年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講		科目等履修		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中国	2		1	2	6	1	7	3		2		3					27
台湾																	0
韓国			5	4	4		1										14
ベトナム	1	1			3												5
マレーシア							1										1
パキスタン							1										1
ドイツ																	0
タイ																	0
トルコ																	0
小計	3	1	6	6	13	1	9	4	0	2	0	3	0	0	0	0	48人
合計	4人		12人		14人		13人		2人		3人		0人		0人		
					学部生合計		43人		大学院生合計		5人		非正規生合計		0人		

2020年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講		科目等履修		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中国	1	2	6	1	6	3	3	4		3		3					36
台湾													1	1			2
韓国	5	4	4		1		2										16
ベトナム			3				2										5
マレーシア						1											1
パキスタン					1												1
ドイツ													2				2
タイ																	0
トルコ													1				1
小計	6	6	13	1	8	4	5	6	0	3	0	3	4	5	0	0	64人
合計	12人		14人		12人		11人		3人		3人		9人		0人		
					学部生合計		49人		大学院生合計		6人		非正規生合計		9人		

2019年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講		科目等履修		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中国	6	1	6	3	2	3	4	6		3		2	2	3			41
台湾																2	2
韓国	4		1		1		1						3	1			11
ベトナム	3					2		1									6
マレーシア				1													1
パキスタン			1														1
ドイツ													1	1			2
タイ															1		1
トルコ																1	1
小計	13	1	8	4	3	5	5	7	0	3	0	2	6	7	1	1	66人
合計	14人		12人		8人		12人		3人		2人		13人		2人		
					学部生合計		46人		大学院生合計		5人		非正規生合計		15人		

海外留学等の体験者数

年 度		2018	2019	2020	2021	2022	2023
外国研修	中国語	30	27	－	－	－	－
	韓国語	13	28	－	－	－	18
	英 語	13	17	－	－	－	12
	小 計	56	72	－	－	－	30
派遣留学	北京大学	－	－	－	－	1	2
	青島大学	2	1	－	－	－	2
	銘傳大学	－	3	－	－	2	1
	東義大学校	3	－	1	1	2	2
	木浦大学校	2	－	－	1	2	2
	釜山外国語大学校	－	2	2	2	2	2
	C ロス・メダノス・カレッジ	－	－	－	－	－	－
	C ディアプロ・バレー・カレッジ	－	2	－	－	－	－
	C コントラ・コスタ・カレッジ	－	－	－	－	－	－
	D アルゴマ大学	5	3	－	－	2	
	ボアジチ大学	1	2	－	－	1	2
	ルートヴィヒスハーフェン経済大学	2	2	－	－	4	2
	クイーンズランド大学	3	－	－	－	－	－
	グリフィス大学	－	3	－	1	1	1
小 計	18	18	3	5	17	16	
国際インターンシップ	青島市(中国)	2	2	－	－	－	－
	大連市(中国)	－	－	－	－	－	－
	釜山広域市(韓国)	4	2	－	－	－	1
	シンガポール	11	10	－	－	－	8
	小 計	17	14	－	－	－	9
その他研修等	56	16	－	－	－	－	
私費留学	中国語圏			－	－	－	－
	韓国語圏	1	1	－	－	－	－
	英 語 圏	6	5	－	－	－	9
	そ の 他			－	－	－	－
	小 計	7	6	－	－	－	9
合 計	154 人	126 人	3 人	5 人	17 人	64 人	
年 度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	

この表は、派遣留学、単位認定を伴う科目での海外経験、外国研修や PBL 等の参加者、及び留学目的の休学を認められた私費留学の体験者数です。長期休暇中の海外旅行等は含んでいません。

※2020、2021 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため派遣留学等が延期又は辞退となっています。

海峡の英知。未来へ そして世界へ。

The wisdom of the Straits. To the future and to the world.

発行：2024年3月

編集：下関市立大学 国際交流センター

連絡先：〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1番1号

電話 (083) 254-8693

FAX (083) 252-8099

URL <http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/kkc/>